

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会  
令和7年度 年度末総会

京都芸術大学大阪サテライトキャンパスにて

内 容

1. 会長挨拶

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会

会長 今西 良介 先生（桜塚高校 定時制 准校長）

2. 審議事項

(1) 各部より

1) 会計部

- ・活動報告

2) 研修部

- ・活動報告、会計報、第3回研修報告

3) 研究部

- ・活動報告、山本浩二さん講演アンケート

4) 高校展部

- ・活動報告

5) 芸文祭部

- ・活動報告

(2) 各ブロックより

A ・活動報告

B ・活動報告

C ・活動報告

D ・活動報告

E ・活動報告

F ・活動報告

G ・活動報告

H ・活動報告

K ・活動報告

### (3) 事務局より

- 1) 第78回大阪府高等学校バスケットボール選手権大会 (Winter Cup 予選)  
会期：令和7年10月25日(土)～26日(日)  
会場：おおきにアリーナ舞洲  
展示：23校、52点  
入賞：【引越革命賞】 住吉高校 井口 紗希「Moonjellyfish」  
【大阪エヴェッサ賞】 春日丘高校 鯉川 咲「しあわせ」  
【大阪高体連バスケットボール専門部賞】 港高校 久保田 輝「LIFE・still life」

2) 近畿研修まとめ

3) 公私連絡報告

4) 第75回造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会 大阪大会報告

5) 近畿会議報告

6) 大高芸研 研修報告

7) 大阪大会関連情報  
・分科途中報告について

8) 次年度に向けて

### (4) その他

- 1) 第38回全国高等学校文化連盟研究大会(大阪大会)について

## 【役員表】(敬称略)

会長 今西 良介 (桜塚定/校長)  
理事長 内藤 さや (港南造形)  
副理事長 倉津 典宏 (枚方なぎさ)

## 【事務局】

事務局長 山口 真弓 (柴島)  
事務局 渡邊 美和子 (桜宮) 麻谷 英樹 (西成)  
田中 伶奈 (港南造形) 物種 佑佳 (美原)  
国分 幸子 (刀根山) 宮崎 さや (千里青雲)

## 【部長】

会計部長 相澤 真央 (港南造形) 副部長 古谷 明香 (佐野工科)  
研究部長 池田 仁 (港南造形) 副部長 増本 茜 (港南造形)  
高校展部長 古屋 ひとみ (守口東) 副部長 芝崎 博敏 (旭)  
副部長 川北 博子 (金岡)  
芸文祭部長 松田 剛志 (池田) 副部長 宮崎 さや (千里青雲)  
副部長 奥田 清崇 (港南造形)  
研修部長 百合野 美沙子 (桜和) 副部長 小本 佳美 (淀川清流)  
副部長 岡垣 有香 (松原)

## 【ブロック長】

A 森 香織 (桜塚)  
B 西村 美穂 (春日丘)  
C 瀬島 由紀子 (今宮)  
D 大谷 尚子 (芦間)  
E 梅木 沙羅 (みどり清朋)  
F 物種 佑佳 (美原)  
G 上野山 愛鐘 (だいせん聴覚高等支援)  
H 石井 智恵子 (泉大津)  
K 若原 茉美 (港南造形)

## 【副ブロック長】

上野 真也 (箕面東)  
松田 麻衣子 (茨木工科)  
時安 希未子 (柴島)  
海老澤 菜美 (西成)  
飛峪 由紀 (芦間)  
澁谷 花菜子 (布施北)  
岡垣 有香 (松原)  
村上 恵美璃 (成美)  
中嶋 彩 (信太)  
高橋 和彦 (港南造形)

## 〈顧問〉

仲谷 浩 (河南/校長) 西田 悟 (金岡/校長) 小畑 龍業 (野崎/校長)  
山村 宏昌 (福井/教頭) 瀧北 清香 (長吉/府教育センター)  
森瀬 康之 (港南造形/校長) 角 芳美 (工芸/校長)

## 〈理事〉

丸山 勉 (吹田東) 村田 和久 (工芸) 酒見 直樹 (港南造形)

◆大阪府高等学校芸術科研究会委員

事務局部会.....倉津（枚方なぎさ）・宮崎（千里青雲）

芸術教育振興委員会...物種（美原）・麻谷（西成）

カリキュラム委員会...内藤（港南造形）・山口（柴島）

令和7年度大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 会計部 活動報告

1) 役割分担

- 部長／相澤真央（港南造形）・・・全体会計（一般・高校展）
- 副部長／古谷明香（佐野工科）・・・全体会計補佐他
- 各ブロック会計担当
- A 森香織（桜塚） B 滝明香（山田） C 平尾絵美（住吉）
- D 山本裕子（枚方津田） E 松浦響子（都島工業）渡邊美和子（桜宮）
- F 北池哲（長野） G 白垣京子（堺西） H 古谷明香（佐野工科）足田文子（岸和田産業）
- K 梶原彩乃・相澤真央（港南造形）
- 会計監査／酒見直樹（港南造形）・郡山鷹子（東百舌鳥）

2) 活動計画

5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23（金）第1回会計部会</li> <li>・23（金）「会計報告」「予算案」「活動計画案」「研究会費納入案内」提示</li> </ul>
6月～10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回会計部会</li> <li>・各ブロック会議・高校展関連会議にて研究会費納入開始</li> <li>・高校展教員説明会にて高校展出品料・研究費関連会計作業。</li> <li>・8月末までにブロック会計部員が研究会費徴収。</li> <li>以降10月末まで個人振り込み。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会費納入者集約及びブロック会議等にて納入者</li> </ul>
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ブロック会計部 研究会費納入者確認</li> <li>・私学分担金確認</li> <li>・全国分担金確認</li> <li>・近畿地区分担金確認</li> <li>・高校展会計・一般会計・補助会計集約</li> <li>・3月6日（金）会計監査</li> <li>会計監査後、私学会計にも関連会計の収支報告・予算案を送付</li> </ul>

3) 研究会費納入

114名（342,000円）納入

4) その他

- ・次年度も高校展集合開催のため、第2回会計部会は教員説明会時に行う。同時に高校展出品料、研究会費関連会計作業を行う。高校展部と連携しタイムスケジュールを組む。
- ・会計業務の効率化を図るため、ネットバンキングの利用を要検討。
- ・物品購入に関して、合計1万円以上の場合は見積書提出が必要。見積りが取れない場合はネット等で調べたページの印刷、または会計部長へ要相談。ブロック会計に関しては、各ブロック会計・ブロック長と要相談。

## 第46回芸文祭美術工芸部門コンクール展 審査結果

部門		出品数	入選数 (含 奨・優)	奨励	優秀	入選率	奨励率	優秀率	
絵画		531	179	37	22	33.7%	7.0%	4.1%	
	(昨年度)	483	150	24	18	31.1%	5.0%	3.7%	
版画		33	20	3	2	60.6%	9.1%	6.1%	
	(昨年度)	36	14	4	2	38.9%	11.1%	5.6%	
彫刻・立体		54	21	4	4	38.9%	7.4%	7.4%	
	(昨年度)	43	21	4	3	48.8%	9.3%	7.0%	
デザイン		246	98	23	16	39.8%	9.3%	6.5%	
	(昨年度)	293	96	23	16	32.8%	7.8%	5.5%	
デザイン	平面		244	97	22	16	39.8%	9.0%	6.6%
		(昨年度)	289	94	23	15	32.5%	8.0%	5.2%
	立体		2	1	1	0	50.0%	50.0%	0.0%
		(昨年度)	4	2	0	1	50.0%	0.0%	25.0%
工芸		91	56	14	6	61.5%	15.4%	6.6%	
	(昨年度)	90	56	13	7	62.2%	14.4%	7.8%	
合計		955	374	81	50	39.2%	8.5%	5.2%	
	(昨年度)	945	337	68	46	35.7%	7.2%	4.9%	

1. 研究部員（敬称略） 計 19 名  
部長：池田 仁（港南造形） 副部長：増本 茜（港南造形）
- A 金尻 恵（箕面）  
B 渡邊 敏朗（大冠）、松田 麻衣子（茨木工科）  
C 青木 岳（港）、櫛本 有里（大正白稜）  
中井 亜樹（大阪府教育センター附属）、深町 和代（咲くやこの花）  
D 田村 夏野（北かわち臯が丘）、畑林 萌（野崎）  
E 北條 友美（成城）、藤田 ちあき（汎愛）  
F 塩野 彰子（東住吉総合）  
G 上野山 愛鐘（だいせん聴覚高等支援）、村上 恵美璃（成美）  
H 榎本 幸弘（久米田）、石井 智恵子（泉大津）  
K 池田 仁、増本 茜、乾 沙央里（港南造形）

2. 年間活動計画（敬称略）

日時	内容	場所	担当教員
5月2日（金）	第1回研究部会 （今年度の予定等）	港南造形高校	池田
7月31日（木） 8月1日（金）	第8回近畿美術館博 物館・美大研修	中之島美術館『ゴッホ展』 大阪芸大研修	上野山・池田・増本
8月21日（木） 22日（金）	全国大会	新潟	池田
10月17日 （金）	思考研究会	倉津先生・金先生に依頼	乾・金尻
12月22日（月）	山本 浩二氏講演	港南造形高校	増本
随時・高校展説 明会時	会議・打合せ等	Googlechat 等を利用し、随時共有	研修などに向けて開催す るかも

- ・大阪大会準備委員会・・・~~5/16、6/6、6/27、8/22、10/3、11/28、2/13~~  
大会冊子、第一分科会等の仕事があります。適宜分担よろしく申し上げます。

### 3. 活動内容（敬称略）

- ① 研究収録・・・金銭面や情報共有の迅速化の観点から、WEB（美工研 HP）に移行  
内容：全国大会での研究発表、研修や高校展の様子、ブロックの活動など  
担当教員（松田）（渡邊）（中井）

\*下記の単発課題収集の集約等を含む

研修レポート担当（上野山）（乾）（増本）

レポートは各研修毎に共有済

★教材収集のご協力ありがとうございます。担当者のブロックの先生方を中心に教材を集める形になるかと思いますが次年度もよろしくお願いいたします。

★データを書類化しているので、QRコードにて閲覧ください。



### ② 思考研究会

- ・日時 令和7年10月17日（金）15:00～17:00
- ・会場 枚方なぎさ高校
- ・参加人数 13名

担当教員（乾）（金尻）

- 1, 枚方なぎさ高校 倉津先生
- 2, 門真なみはや高校 金先生

次年度は、大阪大会があり、時期もかさなるためR8年度は開催せず、思考研究会の要望のみ集める

### 4. 補足事項

1, 昨年度より試みている『単発課題収集』を、今年度も続けることになった。

方法2パターン

- ① 単発課題用のドライブを設置し、そこに課題を収集していく
  - ② フォームで各ブロックに募集をかけ、スプレッドシートにまとめていく
- 2, 今後、研究部のお知らせを、メール及びGooglechat（グーグルチャット）を利用して配信する。

### 5. 山本浩二氏 講演アンケート

# 令和7年度(2025) 研修部

令和8年3月6日(金) 総会

1.研修部員(敬称略) **部長**: 百合野(Eブロック・桜和) **副部長**: 岡垣(Fブロック・松原)、小本(Bブロック・淀川清流)

A	岡田晃希(豊島)	安岡 真由美(東淀川)		
B	小本 佳美(淀川清流)	新堀光枝(柴島)	飯塚 牧子(吹田)	石田 加奈子(芥川)
C	中島 絵里奈(咲くやこの花)	田口 春花(咲くやこの花)	結城 啓介(西成)	和田 周子(桃谷(通))
D	井野 智絵(緑風冠)	飛峪 由紀(芦間)	寺坪 祐輝(寝屋川(定))	
E	梅木 沙羅(みどり清朋)	百合野 美沙子(桜和)		
F	岡垣 有香(松原)			
G	植埜 義博(堺工科)			
H	大沢 里子(日根野)	野村 友樹(りんくう翔南)		
K	喜多 実(港南造形)	佐藤 瑞穂(港南造形)	若原 茉美(港南造形)	

## 2.研修部年間活動報告

	研修部事業(案)	研究会事業	研修担当(敬称略)
4月	18日(金)第1回部会@桜和高校		
5月		総会資料揭示	
6月	20日(金)研修①「金工応用」@豊島高校 講師: 岡田先生(豊島) 14:00~17:00 6名参加 ●金属加工の実践・洋金とロウを使った指輪作り: 材料費500円 終了後 第2回部会		百合野・佐藤
7月	25(金) 新人・全体研修①「高校展を語る会」@天王寺ギャラリー 14:30~17:00 18名参加	高校展	百合野・和田
10月	24(金) 研修②(見学)「中学校文化発表会授業作品見学」 @大阪府立咲くやこの花高校 講師: 深町先生(咲くやこの花) 15:30~17:00 ●中高併設校や授業作品を見学、指導方法やカリキュラム等の共有		百合野・中島
1月	30(金) 研修③「気づきに気づくデザインの発想法」@桜和高校 講師: 三木健先生(大阪芸大) 14:00~17:00 11名参加 ●観察を起点に問いと発想を拓くデザイン思考の講義、実践	芸文祭	百合野・飯塚
2月	第3回部会(Teamsチャット、メール等オンラインにて) 研修部内の輪番体制についての検討 今年度活動報告確認		
3月		年度末総会	

## 3.研修部 会計報告

### 6月28日(金) 研修①「金工入門」

講師の岡田晃希より私物の金属を提供いただきました。

参加者お1人につき材料費として500円程度徴収して岡田先生に寄付しました。

### 1月30日(金) 研修③「気づきに気づくデザインの発想法」

大阪芸術大学の三木健先生に、大阪府教育振興室講師等謝礼額基準表に基づき、以下の講師料を支払いました。

講義1時間につき7,100円 講義時間は3時間であったため 7,100×3 = 21,300円

計21,300円 を会計部から支出いただきました。したがって年間の支出は**合計21,300円**となりました。

## 4.研修部 輪番制 部長体制 R8年度より輪番制を導入します

①グループ: A+Eブロック	②グループ: Bブロック	③グループ: Cブロック
④グループ: Dブロック	⑤グループ: F+G+Hブロック	⑥グループ: Kブロック

R8年度(②グループ) → R9年度(③グループ) → R10年度(④グループ) → ★部長は次年度副部長にスライド

R8年度部長: 新堀光枝先生(Bブロック・柴島) 副部長: 百合野先生(Eブロック・桜和)

令和7年度 高校展部 活動報告

1. 高校展部員

部長	古屋ひとみ(守口東)
副部長	芝崎博敏(旭) 川北博子(金岡)
Aブロック	国分幸子(刀根山) 高木由貴(渋谷)
Bブロック	西村美穂(春日丘) 山口真弓(柴島) 近藤朋美(北摂つばさ) 酒井遥(茨木西) 北川亜紀(福井) 鴨井陽香(三島) 岡本直子(北摂つばさ) 関友道(淀川清流)
Cブロック	麻谷英樹(西成) 海老澤菜美(西成) 瀬島由紀子(今宮) 森治健太(工芸) 栗谷和宏(工芸) 桑村勇輝(大阪わかば)
Dブロック	森明美(北かわち阜が丘) 山本有希子(寝屋川 全日) 菅谷英正(牧野) 山崎優子(門真西) 古屋ひとみ(守口東)
Eブロック	澁谷花菜子(布施北) 芝崎博敏(旭)
Fブロック	物種 祐佳(美原) 武内愛弥(長吉) 中野真希(松原) 末永信(金剛)
Gブロック	川北博子(金岡) 山田荘子(鳳) 郡山鷹子(東百舌鳥) 富ちひろ(堺上)、太田雄哉(堺支援)
Hブロック	中嶋彩(信太) 坂口美波(伯太) 前田裕之(貝塚)
Kブロック	庄司ゆうこ 田中伶奈 平松和佳奈 曾根るり瀬 鈴木啓以知 酒見直樹 前羽りお

2. 活動報告

月	日	曜	会議名	会議場所	内容
4	4	金	第1回 部会	天王寺美術館	美術館の現地確認、要項確認
4	18	金	第2回 部会	港南造形高校	役割分担(案)、ポスター案内
5	23	金	総会	あべのハルカス	要項説明、高校展部活動計画(案)
5	30or6/6		ブロック会議	各ブロック別	申込集約、ブロック内役割、 申込状況の確認
5~6			生徒説明会	各ブロック別	オンライン実施細目 高校展に参加予定のみなさんへ
6	20	金	第3回 部会	守口東高校	各ブロックの状況確認 教員会議の段取り確認
7	4	金	出品校教員会議	住吉高校北畠会館	出品料納入、申込(修正)提出 校名札、題名札等配布
7	5	土	高校展出品作品割付	港南造形高校	展示計画、割付作業
7	22	火	高校展搬入	天王寺美術館	高校展搬入
7	23	水	高校展審査	天王寺美術館	第76回高校展 各部門審査
7	27	日	高校展表彰式	天王寺美術館	優秀賞表彰式
7	28	月	高校展搬出	天王寺美術館	高校展搬出
11	7	金	第4回 部会	天王寺高校	第76回高校展アンケート集計 第77回高校展実施要項(案)
1	23	金	第5回 部会	旭高校	第76回高校展総括 第77回高校展実施要項(案)

高校展支出内訳

R7年度(2026.2.13)

美術館使用料

日付	金額	摘要
5/20	669,000	美術館使用料
5/20	440	手数料
小計	¥669,440	

会議費

日付	金額	摘要
5/22	3,000	美術館審査使用料
5/22	440	手数料
小計	¥3,440	

共同搬入出運送費

日付	金額	摘要
7/16	198,000	E(大千)
7/18	440	手数料
7/18	150,000	C(ワイズ)
8/5	66,000	H(異運送)
8/5	110	手数料
8/5	120,000	H(引越革命)
8/5	880	手数料
8/5	186,340	G(ハートアンドハート)
8/5	110	手数料
8/8	199,571	B(越野運送)
8/8	110	手数料
8/8	132,000	F(異運送)
8/8	110	手数料
8/8	123,200	A(佐藤運送)
8/8	440	手数料
9/1	110,000	D(株式会社一)
9/1	440	手数料
小計	¥1,287,751	

DM・ポスターはがき 印刷費(看板含む)

日付	金額	摘要
5/22	4,290	印刷物宅急便
6/30	34,970	高校展ポスター
6/30	3,010	ゆうパック
7/22	500	プリント
7/28	7,780	インク代
7/28	66,000	看板代
7/28	440	手数料
小計	¥116,990	

収入

¥2,897,100

支出2026.02.13

¥2,735,749

事務費(その他)

¥161,351

日付	金額	摘要
7/22	4,114	衣装ケース
7/22	1,095	カラー用紙
7/22	2,420	テープ
7/22	214	テープ
7/22	5,164	封筒
小計	¥13,007	

派遣費(監視アルバイト代 ¥7000×16名 ¥9000×8名)

日付	金額	摘要
7/16	161,000	アルバイト代
7/22	23,000	アルバイト代 追加
小計	¥184,000	

賞状印刷費

日付	金額	摘要
5/20	20,578	賞状用紙
7/3	4,564	プリンターインク
小計	¥25,142	

高校展特集号制作費

日付	金額	摘要
2/13	66,000	冊子作成
小計	¥66,000	

高校展目録作成費(サテライトマップ・会場図)

日付	金額	摘要
7/18	68,215	高校展マップ
8/28	41,645	高校展マップ再作成
小計	¥109,860	

予算枠外(予備費より捻出)

日付	金額	摘要
2/13	123,880	PC 印刷機
2/13	43,331	トランシーバー
2/13	50,499	ヘルメット
2/13	¥42,409	雨対策用品
小計	¥260,119	

高校展賛助金収入

R7

日付	学校・企業名	金額
6月30日	ターナー色彩(題名札)	10,000
8月7日	嵯峨美術大学	30,000
8月8日	京都芸術大学	30,000
8月12日	奈良芸術短期大学	30,000
8月15日	大阪成蹊大学	30,000
2月14日	大阪芸術大学	30,000
8月25日	成安造形大学	30,000
9月25日	京都精華大学	30,000
9月10日	京都美術工芸大学	30,000
8月25日	神戸芸術工科大学	30,000
8月29日	東京工芸大学	30,000
8月29日	大手前大学	30,000
9月12日	近畿大学	30,000
9月10日	立命館大学	30,000
	収入合計	¥400,000

【収入】

		A12	B 20	C 12	D 13	E 12	F 11	G 14	H 12	K 1	合計	
I	1	出品料	¥270,800	¥410,600	¥253,000	¥368,800	¥180,700	¥200,300	¥231,300	¥251,800	¥329,800	¥2,497,100

【支出】

		支払先	A (佐藤運送)	B (越野運送)	C (ワイズコーポレーション)	D 株式会社一	E (大千)	F (異運送)	G (ハートアンドハート)	H1(異運送)2(引越革命)	K	金額
II	1	運送費	¥123,200	¥199,571	¥150,000	¥110,000	¥198,000	¥132,000	¥186,340	¥66,000	¥0	¥1,165,111
	2	運送費								¥120,000	¥0	¥120,000
II	1	振込手数料	¥440	¥110		¥440	¥440	¥110	¥110	¥990	¥0	¥2,640
		合計	¥123,640	¥199,681	¥150,000	¥110,440	¥198,440	¥132,110	¥186,450	¥186,990	¥0	¥1,287,751

【収入明細 出品料】

A12		B 20		C 12		D 13		E 12	
北野高等学校	18,000	淀川清流高等学校	8,000	大手前高等学校	12,000	四条畷高等学校	12,000	旭高等学校	15,000
東淀川高等学校	20,000	柴島高等学校	33,900	港高等学校	15,000	寝屋川高等学校	27,000	成城高等学校	16,200
池田高等学校	34,000	春日丘高等学校	31,000	清水谷高等学校	18,000	北かわち阜ヶ丘高等学校	46,400	布施高等学校	25,600
渋谷高等学校	12,000	茨木高等学校	18,000	夕陽丘高等学校	35,000	牧野高等学校	26,000	花園高等学校	25,400
豊中高等学校	21,000	茨木西高等学校	27,000	高津高等学校	6,000	香里丘高等学校	21,000	みどり清朋高等学校	15,500
桜塚高等学校	22,000	北摂つばさ高等学校	40,500	今宮高等学校	32,000	芦間高等学校	30,000	布施北高等学校	16,000
千里青雲高等学校	22,700	吹田高等学校	10,700	工芸高等学校	36,100	門真なみはや高等学校	38,000	山本高等学校	12,000
豊島高等学校	25,000	千里高等学校	5,700	西成高等学校	10,500	緑風冠高等学校	59,000	八尾高等学校	12,000
乃根山高等学校	36,700	吹田東高等学校	66,000	天王寺高等学校	25,800	野崎高等学校	23,800	八尾北高等学校	3,000
箕面高等学校	13,000	北千里高等学校	18,000	住吉高等学校	36,600	交野高等学校	24,500	桜宮高等学校	24,000
箕面東高等学校	16,700	槻の木高等学校	12,000	教育センター付属高校	8,000	枚方なぎさ高等学校	22,000	汎愛高等学校	3,000
園芸高等学校	17,700	三島高等学校	33,000	西野田工科高等学校	3,000	守口東高等学校	28,000	都島工業高等学校	13,000
池田高等学校追加	6,000	高槻北高等学校	12,000	工芸高等学校追加	15,000	枚方津田高等学校	11,100		
乃根山高等学校追加	6,000	芥川高等学校	15,700						
		摂津高等学校	4,000						
		阿武野高等学校	15,000						
		福井高等学校	16,000						
		山田高等学校	15,000						
		大冠高等学校	1,000						
		茨木工科高等学校	19,100						
		三島高等学校追加	9,000						
小計	¥270,800	小計	¥410,600	小計	¥253,000	小計	¥368,800	小計	¥180,700

F 11		G 14		H 12		K 1	
東住吉高等学校	5,000	登美丘高等学校	18,000	和泉高等学校	19,000	港南造形高等学校	206,800
長吉高等学校	10,000	泉陽高等学校	15,000	久米田高等学校	24,000	港南造形高等学校(追加)	123,000
生野高等学校	21,000	三国丘高等学校	15,000	佐野高等学校	37,000		
松原高等学校	25,000	鳳高等学校	23,000	貝塚高等学校	8,200		
河南高等学校	16,000	泉北高等学校	23,000	貝塚南高等学校	24,000		
富田林高等学校	30,000	堺東高等学校	31,000	日根野高等学校	12,000		
懐風館高等学校	15,000	金岡高等学校	32,300	佐野工科高等学校	21,500		
大塚高等学校	21,200	東百舌鳥高等学校	3,000	岸和田市立産業高等学校	42,700		
藤井寺高等学校	19,000	堺西高等学校	21,000	泉大津高等学校	17,000		
美原高等学校	12,000	福泉高等学校	7,000	伯太高等学校	7,400		
東住吉総合高等学校	26,100	堺上高等学校	9,000	信太南高等学校	18,000		
		堺高等学校	12,000	高石高等学校	18,000		
		堺支援学校	15,000	佐野高等学校(追加)	3,000		
		だいせん聴覚高等支援学校	7,000				
小計	¥200,300	小計	¥231,300	小計	¥251,800	小計	¥329,800

# 第76回（2025年度）高校展総括

## ○場所および会期

大阪市立美術館 天王寺ギャラリー 第1/2/3/4室

2025年 7月23日(水)～7月27日(日)

## ○第76回高校展出品数と受賞賞（過去2年のデータと賞の数の目安）

部門	絵画	デザイン			彫刻 立体	工芸	版画	計	集合作品			支援	合計		
		テ	立	自					デザイン	彫刻 立体	工芸				
76回 25年度	総数	732	9	4	345	88	164	39	1381	種類	1	5	16	0	1403
	優秀賞	36	0	0	16	4	10	2	68	集合作品 奨励賞	0	1	4	0	優 68
		4.9%	0.0%	0.0%	4.6%	3.4%	6.1%	5.1%	4.9%						
	奨励賞	182	0	0	40	15	33	8	283		0%	20%	25%		奨 283
		24.9%	0.0%	0.0%	11.6%	17.1%	20.1%	20.5%	20.4%						
71回 19年度	総数	648	47	7	359	55	237	51	1404	種類	0	7	19	38	1472
	優秀賞	32	0	0	15	3	10	2	62	集合作品 奨励賞	0	3	6	0	優 62
		4.9%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	5.5%	3.9%	4.4%						
	奨励賞	178	2	1	36	14	47	11	289		0%	42.9%	31.6%		奨 298
		27.5%	4.3%	14.3%	10.0%	25.5%	19.8%	21.6%	20.6%						
70回 18年度	総数	697	25	8	415	68	220	41	1474	種類	0	7	19	25	2145
	優秀賞	33	0	0	15	3	10	2	63	集合作品 奨励賞	0	2	6	0	優 63
		4.7%	0.0%	0.0%	3.6%	4.4%	4.5%	4.9%	4.3%						
	奨励賞	204	1	1	45	19	43	10	323		0%	28.6%	31.6%		奨 331
		29.3%	4.0%	12.5%	10.8%	27.9%	19.5%	24.4%	21.9%						

## ○出品作品数内訳

第76回 高校展 出品実数集計

全ブロック	参加	絵画			版画			デザイン				彫刻・立体		工芸			作品台(大)			備考	
		50号未満	50号以上	100号以上	B1	B2	大作	自由	立デ	立デ大	テーマ	標準	大作	壁面	標準	大作	デザイン	彫・立	工芸		共同搬入出
Aブロック	12	52	43	3				18				4			12				1	4	12
Bブロック	20	32	55	29	1			48	1			7	4	1	4				1	2	17
Cブロック	12	53	37	8		4		27			1	3	1		1					3	8
Dブロック	13	30	45	21		10		65			4	3		1		1			4	56	12
Eブロック	12	22	11	13		1		21				3	1						21		0
Fブロック	11	21	29	5				29	3			6	2								10
Gブロック	15	24	28	10	3			24			3	1									14
Hブロック	12	36	32	9				28			1	4		1	15						12
Kブロック	1	5	76	1	9	10		85				24	4	6	39	3				28	0
合計	108	275	356	99	13	25	0	345	4	0	9	55	12	9	71	4	1	26	93	計、1397	85

※目録データにサイズ記入が無い等、カウントできない作品があるため、審査資料の集計総数(1403)とはズレが発生しています。

## ○来場者数

	7月23日	24日	25日	26日	27日	合計
AM	400	718	783	1077	1869	4847
PM	950	1029	835	1254	562	4630
合計	1350	1747	1618	2331	2431	9477

## ○運営

経済的な事情に加え、オンデマンドの資料を整えていただけたことにより、生徒説明会を各ブロックにて開催することができた。教員説明会においても搬入出の流れが非常に伝わりやすい説明ができた。次年度からもぜひ活用していきたい。会場は、住吉高校・北島会館をお借りすることができた。役割について、先生方には以前の美術館開催を元にできる限り同じ役割をお引き受けいただいたことにより、特に大きな問題なく開催することができた。今後は新しい先生方に仕事内容を引き継ぎつつ継続できる形を模索したい。共同搬入出 6000 円への値上げ、絵画壁面 3m 上限という実質値上げを行った。絵画の 30 号を出品可とした。絵画作品の小型化に連れ、美術館の壁面にはゆとりがある。今年度は港南造形高校が校内審査なく全員出品することになり、出品料収入としても大きく助かった。審査においては、データ処理の方法を工夫することにより、特に時間のかかっていた絵画部門において時間の短縮が図れることが判った。ゆとりを持った丁寧な審査に繋げたい。

## ○目録

- ・共通のパスワード設定
- ・出品校一覧などの情報共有の徹底
- ・目録データの共有について

昨年度の反省より、目録のデータファイルの送受信時には、全ブロック内共通のパスワードを設定。今後も数字を増やして設定していく。

7月の教員説明会に目録の到着が遅れ、各校への内容確認の作業が遅れた。また、学校別に目録を印刷して持参したが、2校分を1枚のシートに印刷していたのが一件、1校の目録データが説明会までに主担に届いていなかったことによる印刷不足が一件あった。出品申し込み校の一覧を目録係全員に共有することで、今後このようなことがないようにしたい。この時、紙ベースの目録が必要かどうかについて問われたが、翌日の割付作業で出品料に関わる申し込みの確認に必要となるため、これまでどおりとしたい。

今回は4年ぶりの開催ということもあり、以前と同じ回収の方法で実施したが、昨年までは各ブロックの目録係が目録の体裁や、提出期限の調整を行ってきた。その中には目録データを Google ドライブで共有し、審査係との情報共有など円滑にされてきたブロックもある。今後は「目録データをブロックで共有する」方向で目録回収の流れを検討する。最終的なチェックなどはこれまで通り主担が行うが、それまでの業務は各ブロックの目録係が担当できるよう、業務内容を明確にしたマニュアルを作成するのもよい。作品にナンバリングし、内容訂正や不出品による削除作業を円滑にできるようにしていきたい。

次年度に向けて

オンデマンド生徒説明会の実現もあり、教員の業務軽減のため、各校の目録入力には生徒が Google フォームで行うようにし、説明会資料に加えるのはどうか。

## ○ポスター・DM

今年度高校展の実施時期が早いこともあり、作成時期も早めました。

お配りする機会を作るのが難しく、まずプリントパックから4か所に配送を依頼（分配は4か所まで可）し、そこからブロックに郵送していただきました。ブロック長の先生方にもご協力いただきポスター・DMをお配りいただけました。各ブロックに郵送していただく過程などお手数だったかと思いますがご協力いただけて大変助かりました。

また、デザインの確定については後援・協賛が取れるのを待ってからになってしまうので、発注は思い通りのスケジュールで進めにくいのが難しいところだと感じます。今年度もイレギュラーなスケジュールの中ではありましたが臨機にご対応いただきありがとうございます。

（部数については特に足りなかったなどはお聞きしていないのですがどうだったのでしょうか？・・・）

## ○サテライトマップ

- ・経済的な理由から、折り方・紙質を変更したが、特に不評ではなかった。
- ・展示マップを作成する際に、分野で色分け(カラー印刷)をするので、高校展部の割付図の集合作品の□マークに工芸とか分野がわかるように書いておくことを引き継ぎたい。

## ○特集号

- 7月2日 特集号原稿依頼
- 8月7日 原稿締切（会長・理事長）
- 8月末 審査講評原稿締切
- 1月7日 入稿データが揃う
- 2月 発行予定

負担軽減のために、ブロックごとの壁面批評文をカットした。

## 書類② 第77回高校展(大阪府高等学校美術・工芸展) 出品要項(案)

大阪市立美術館 天王寺ギャラリー 第1/2/3/4室 天王寺区茶臼山1-82 ;06-6771-4874

2026年 8月4日(火)～8月9日(日) 9:30～17:00(入館は終了30分前。最終日は15:00終了。)

- 【趣旨】 ①高等学校美術・工芸教育の一環として行う。  
②高校生が表現活動を通じ、独自性と創造性を追求する機会とする。  
③一般、中学・高校生の鑑賞の資とする。

【出品規定】 大阪府内の公立高等学校及び・支援学校の生徒作品で、原則として学校外で発表したことのない作品。

《出品部門》 絵画、版画、彫刻・立体、デザイン、工芸の5部門とする。

《出品点数》 各部門に一人1点ずつ出品できる。ただし工芸部門は木工・金工・染織・陶芸・その他の各1点ずつ5点まで、  
デザイン部門は自由課題・立体課題・テーマ課題の各1点ずつ、計3点まで出品できる。

立体物の共同制作作品は審査の対象とし、翌年の全国高等学校総合文化祭への代表作品の審査対象とする。

【申し込み】 所定の用紙に必要事項を記入し、5/29または6/5のブロック会議までに各ブロックの高校展部員に提出すること。

※ 支援学校は高校展支援部門担当者がとりまとめる。

**【注】デジタルプリンタで出力した平面作品は、デジタルメディア(平面)に出品すること。**

**絵画壁面が不足した場合は、7m以上で壁面m数の多い学校から削減する。又、7m以上の学校は壁面が折れる事を前提とする。**

**工芸壁面はm単位で申し込むこと。いずれの部門も壁面の展示は3m上限とする。**

【出品料】 出品料は出品校教員会議(7月 日(金))で、所定の用紙に金額を記入のうえ、納入すること。

絵画壁面 1mにつき	3000円	デザイン(自由課題) B1縦のみ	1000円
版画B1	1200円	デザイン(テーマ課題) B1 縦のみ	1000円
版画B2	600円	デジタルメディア(平面) B1縦のみ	1000円
版画大作 B1パネル2枚最大まで	2000円	彫立・立デ・工芸の標準作品(立体)	700円
工芸壁面 1mにつき	2000円	大作(彫立・立デ・工芸)投影床面積1㎡につき	1000円
		デザイン・立体・工芸作品台(大)1台	1000円

※共同搬入参加校は、共同搬入参加費用として別途一校につき6,000円を納入すること。 ※ 絵画1点出品については別途料金規定を定める(別紙)

### 【展覧会までの手続き】

生徒説明会	5月～6月		各ブロック担当者	各ブロックでオンラインで実施(日程は各ブロックで決定)
申込各ブロック会議	5/29or6/5(金)	14:30～17:00	各担当校	各ブロックの高校展部員に申込書を提出
出品目録の提出	6/26(金)or7/3	締切	各ブロック担当者	ブロック毎に決められた担当者へメールで提出
出品校教員会議	7/10(金)	14:30～17:00	◆場所未定	出品校の顧問教員対象。必ず出席。欠席は棄権となる。 出品料納入、変更手続き、目録確認、各係打合、諸連絡。
作品搬入	8/3(月)	12:00～16:00	大阪市立美術館	搬入作業、目録提出、金具・止めゴム等貸与を受ける。
作品搬出	8/10(月)	9:00～12:00	大阪市立美術館	搬出作業、金具・止めゴム等を返却。

【表彰式】 表彰式は、8月9日(日)13時より会場に於いて行う。優秀賞受賞者は必ず出席すること。(集合は12時30分)

【その他】 今展覧会出品作品より、来年度の全国高等学校総合文化祭「美術・工芸部門」に参加する生徒を選定する。

### 《出品に関する注意事項》 ※デジタルメディアについては、年度当初に詳細を追記する予定。

絵画	○30号(作品の長辺が91cm以上)から120号(作品の長辺が194cm以下) 額装すること。 ○平面作品は、壁面から30cm以内であること。
版画	○B1又はB2パネルを基準とする。パネルでない場合は額装する。
彫刻・立体	○彫刻・立体作品の標準は、1点展示とし、自校で用意した60cm平方以内の台の上に置ける大きさであること。
デザイン	○平面作品はB1パネルのみ。○壁面から10cm以内であること。○テーマ課題と自由課題を設ける。 ○平面作品はテーマ課題・自由課題とも縦位置とする。○今年度テーマは「高校展ポスター」 ○立体デザイン作品は、自校で用意した60cm平方以内の台の上に置ける大きさであること。
工芸	○工芸の立体作品の標準は1点展示とし、自校で用意した60cm平方以内の台の上に置ける大きさであること。○壁面展示の作品は、割当m数の範囲内で、高さ4m以内に展示可能なものとする。
作品台(大)	○デザイン・彫刻立体・工芸のテーブルに展示する作品は、自校で用意した90cm平方以内の台の上に置くこと。 ○集合作品は、1部門につき1テーブルを用意し、同じ台に2部門にまたがる作品を置かないこと。
大作	○彫刻・立体は投影床面積が60cm平方を超えるもの。工芸・立デは、底面の一辺が60cmを超えるもの。 ただし、投影床面積最大4㎡以内とする。版画は、B1パネルを超えるもの。ただし、B1パネル2枚最大までとする。
その他	○壁面と床面の両方を使用する作品は、自校の絵画壁面に含めて申し込み、床面の使用料(出品料)を加えて納入する。(備考欄に内容を記入) ○彫・立・工・立デとも安全性・他の作品の鑑賞条件から、高さは台座(作品台)を含めて2m程度とする。自立・安定させること。 ○美術館入口から安全に搬入できるサイズや形状であること。○電源を使用する作品は目録提出時に申請すること。 ○投影床面積2㎡を超えるものについては、申込時に高校展部の割付係に相談すること。 ○上記の規定概念に入らない作品については、必ず作品の具体的な形態や内容を文書にて高校展部まで提出すること。 但し、支援学校の生徒作品については、上記作品の大きさに関する規定を適用しない。 ○高校展の趣旨を踏まえ、公序良俗に反する表現は避けること。

★作品は、高校展および選抜展主催者の制作する図録(特集号)、ポスター・案内状(次年度用)、ホームページ等に無償で使用できるものとする。

【主催】 大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 【後援】 大阪市・大阪府、大阪市・大阪府教育委員会、他

【この件に関するお問い合わせ】 大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 高校展部事務局 大阪府立 守口東高等学校 芸術科(美術):古屋ひとみ

## 第76回高校展 振り返りアンケート(高校展部以外:回答数28)

クラブの登録料はクラブ予算とは別に学校やPTA等から支払われていますか  
支払われている 12  
支払われていない 13  
不明 1

○次年度の高校展についてF30号の出品がなくなることに賛成ですか  
どちらともいえない 12

賛成（以前のようにF50号からの出品で良い） 7  
反対（これからもF30号の出品をしたい） 9

○出品作品が少なくなる中で出品料の値上げについて検討をしなければならないことについてどのようにお考えですか  
会場を探すか、会期を少なくするのはいかがでしょう

予算が少なくなってきている中での値上げは生徒の制作意欲を下げることにつながる。

むしろ、出品料とかが高いから、出品作品が減ってきたのでは？とは考えられないだろうか？

少子化なので、作品点数が減ってくるのは当然だが、今年みたいにいきなり共同搬入のトラック代が倍増とかになると、マイナスの方向に考えてしまいます。

仕方ないかなと。本校生徒の家庭層的に、値上がりしても苦情は出ないと思われるので、そこは助かっています。

致し方ない。

・やむなし。

・ただし、自分で自分の首をしめたことにもなりましたが、絵画・工芸壁面に関しては、今年から上限3mとなった結果、実質的にすでに値上げ状態です。

・絵画壁面が減ったのは、30号が増えた結果なのか、絵画の点数自体が減少した結果なのか、高校展部の分析を待ちたいです。

・上の項目とも関係しますが、30号を継続するのであれば、展示室を4室→3室に縮小することもセットになるかと思えます。縮小するのか、それとも50号以上～100号・120号を維持していくのかは、昨年からの継続検討事項でもあります。

・逆に、（絵画壁面と比較すると）デザインB1は1点1500円が妥当では？

ある程度はやむを得ないと思うが、会場を縮小したりトラックをまとめたりするなど十分やれることをやった上での値上げであってほしい。すでに

やっているのかもしれませんが大学などにも協賛を呼び掛けてみるとか。

出品料が高くなることは、更なる高校展離れを招くのではないか。自校については値上げがあっても出品は続けると思う。

致し方ない・・・とは思いますが。

致し方ないかと思えます。

やむを得ないが程度にもよる。

要は出品作品=納入出品料の増加をいかにか図るかが肝心。高校生が出品したくなる高校展の経営を。費用の削減については、展示室を減らす(例:4室→3室)や、トラック運送費を減らす(芸文祭のように手持ち搬入・絵画30号の奨励)、展示室案内図印刷・配布の廃止、など一度考えてみるべき。

物価高もあり画材やパネルもなにもかも値上げしているの仕方ないと思う

値上げすると、ますます出品しなくなるとおもいます。ただ、何か案があるかといえば、ないのでどうしたらよいかわかりません。

どの学校も、学校から補助があれば良いのと思えます。

致し方ないと思えますが、生徒負担が発生する（今は生徒負担0円でやってます）とさらに出品する数は減るかもしれません（家庭の経済状況によります）

どこかの機関が援助していただければいいのですが、無理なら上げざるを得ないように思います。

やむを得ないと思う

生徒母数が減れば、学校徴収金が減り、部活動に充てられる活動予算が厳しいため、できる限り安い方が、多くの生徒が出せるかと考える。

もし、30号絵画を可とすることで出品数が増え値上げをせずに済むのであれば、30号絵画の出品も可とすることも視野に入れても良いのかなと思えます。

できるだけ現状維持できるような方法を考えてもらえればうれしい。

値上がりは仕方がない。以前一度あったように絵画何号いくらとしていただける方がわかりやすい。お金があまり用意できない生徒は払えるサイズは部門に出品できる。

さまざまな方策を講じたうえで、それでも値上げが必要なら、やむを得ないと思えます。

運営していくためには仕方がないが、出品料が高くなれば、生徒個人で出させているところは更に作品数が減るのではないかと思ったりもします。

部員などの作品が少なくなっていくので、質は分からないが授業作品をもっと出してもらえるように、、、でも、小さい作品はあまり好まれない??

授業作品をもっと出してもらえるよう、1校の中でも会計を分けてもらえたり、、、ややこしいのでなかなか難しいと思えますが、、、

因果関係があるかわかりませんが、従来の規定と今回のF30号の出品を認めたことで出品数の変化がみられたか確認することもできるのかなと思えました。作品数が増えるのであれば、F30号も認めてもいいと思えます。

値上げは致し方ないのかなと思えます。

研究会費を支払わないが高校展には出品する学校もあるので、研究会費を払っていない学校は別途、高校展登録費としていくらかを徴収するのはいかがでしょうか。（高体連登録費みたいな）高校展登録費という名称であれば、学校の補助を申請しやすいかなと思えました。

出品料は値上げしない方がいいのが理想ですが、上げるのであればタイミング的には次年度かなと思えます。

○共同搬入の代金6000円について、トラック代の高騰により昨年度さらに上がるかどうか金額が考えられますが、何かよい方法があればご記入ください

トラック代の値上げは仕方ないので、自家用車の搬入をもっと柔軟にして欲しい。

今回一律6000円だったと思えますが...作品の小型化ぐらいしか思いつきません。すみません。我々教員が自分の作品を売ってその収益をトラック輸送代として積み立てるとか？

・（上記訂正）正しい代金は6000円です。

・トラック代の高騰を出品料と共同搬入出料の両方でカバーしていますが、少ない出品校にとっては共同搬入出料はこれぐらいが落としどころかとも思えます。出品数が多い学校は出品料も多く払うので、それでバランスをとるのがよいのでは。

今年度の各ブロックの荷物量を調査して、余裕があるところはブロックをまたいで集荷するなどの検討してみる。

30号の出品OKだと手持ち搬入が増えて、さらにトラック利用しないといけないところの負担が増してしまうとかはないですか？

トラック代の高騰は仕方がない。高校展存続のために、大きなお金が必要。

共同搬入出費が負担となり、参加を悩む学校への対応として、50号、B1作品は電車利用できる（鉄道の無料手荷物範囲内）ので、手持ち搬入を選択肢として丁寧に案内する。手持ち搬入校向けに梱包方法（キャンパスバッグの利用など）の指導や脚立の貸し出し等があれば選択しやすくなると思えます。

Eブロックは¥6000でした。よいアイデア浮かばずすみません。

出品料のように、運ぶ作品の数や大きさを差をつけてほしい

残念ながら、よい方法は思いつきません。

時間がかかっても、積載量をかんがえて、できるのであればトラックの台数を減らすしかないかと。

6000円より値上がるとかなり厳しい。今回は人数が多かったので払えたが、来年は2人になる可能性があるので1人に3000円も負担させられない。ある程度、作品の数や量にみあった料金になれば納得感があるように思う。

取りまとめの方の仕事量があるので、ブロックごとなのは仕方ないと思うのですが、集荷の道順などを考えブロックを撤廃して台数を減らせないか考えてみるのはどうでしょうか？

トラックが大きくなって運転手の数を減らす。プラス・マイナスどうか？わかりませんが。

部員の自己負担はやむを得ないと思えます。

トラック代（共同搬入出費）を上げるのではなく、出品料を上げる方が平等な気がします。部員数も減っていく中、共同搬入出費が上がれば出品しない学校や自力で運べる小さいサイズのみのお品になっていくのではと考えます。

○教員説明会について何かございましたら、ご記入ください

動画が分かりやすく素晴らしいです

今年の住吉高校は行きづらかったので、以前の港高校や、天王寺高校や、ホールに大人数が収容できる千里青雲高校とかにして欲しい。

ビデオが分かりやすかったです。出品料支払い状況（待ち状況）をアナウンスしてもらえるとよかったです。並んで待っていて、そろそろ順番が来るというタイミングで他の学校も呼んであげようと1階へ降りたところ、列の最後尾に並び直すことになりました。

・もうすこし会場が広がったらよい。あと、北の人間からは遠かったです。

もう少し広い場所をお願いします。

オンデマンド説明会等も考えられたかもしれないが、顔を合わせて集合することは重要。

そして、各ブロックや係の打ち合わせ時間があったことが良かった。

特にありません。

zoomが可能ならとても助かります。

成績処理で多忙なので、参加できませんでした。たまたま、実習教員の方が美術部の顧問なので、出席をお願いしました。

副顧問のため参加なし

動画はわかりやすかった。

全校を一カ所に集めるのは大変だと思うので、ブロックごとに会場を分けて各会場をMeetでつなく、などの方法でもできるのではないかと思います。

・目録の確認と出品料の支払いの時に、混雑があったり混乱があったと思います。着席場所をブロックごとに分けてすべての説明が終わった後に、目録の確認・出品料の支払いをした方がスムーズだと思います。（例えば、前半：◎～□ブロック...目録の確認 後半：△～◇ブロック...出品料の支払い、みたいな感じで入れ替え制で行なう）

・目録の確認で、担当の方がブロックの先生を探す時間が長く、困っておられたと思います。

座席をブロックごとで大まかにでも指定しておく、目録の配布や回収などがスムーズにいくかと思いました。

○審査や賞・推奨シールについて何かあればご記入ください

特に今のままでいいかと。ただし、審査方法には改善が必要。時間をかけすぎ。

推奨シールに選んだ相手の校名を記入している学校があったように思う。

・推奨シールは今回の変更したやり方でよいと思いました。（以前は交流用紙を提出し、交流用紙の記載と同じ学校にシールをはる。今回は交流用紙はなし、シールをはるだけ）

・審査についてはいろいろ思うところがありますが、以前からの継続的な問題でもあります（審査レベルや基準にぶれを少なくするためどうするかという課題）。けっこう大きな問題だと思います。

審査方法についての方法を教員間で丁寧に事前打ち合わせしたほうがよい。厳しいかもしれないが、審査の人数を増やす必要があると思う。賞のつきかたに、審査員の好みが出すぎる、自校を推しすぎる、壁ごとに審査している？等、偏りを感じる。推奨シールは生徒の励みになった。

特にありません。

妥当。

部門によって賞の割合がすごく違うのが気になった。手を付けやすいつけにくい画材というのはあると思いますが、、、。

○出品要項について何かお気づきの点がありましたらご記入ください

デザインのテーマ部門は廃止にしてもよい。

作品台（大）について。要項には、自校で用意した90cm平方以内の台の上に置くこと、と明記されているが、実際は長机に置かれているものがあり、賞にも入っていた。

絵画1点の出品料金を、別紙ではなく全体の要項の方に記載してもらえたらとても助かります。

・知財権に関しては研究会で新しい基準を作成中ですので、来年はそれを取り入れていただくようお願いします。

記載のとおりで、出品方法は理解できた。

特にありません。

公序良俗や知的財産権など、遵守は大切ですが目くじらを立てすぎた印象を生徒に与えると参加に抵抗感が生じることを危惧します。「トラブルから生徒を守る」ことはごもっとも、しかし生徒の表現意欲を守ることも大事。

特になし

F30号の作品は今後もアリでいいのではないかと思います(初心者のハードルを下げられるので)。どうしても認めない！というならせめて「出品は認めるが審査対象とはならない」というようなカタチにしていれば助かります。

集団、共同のところがよく分からなかった。

資料の確認を徹底していただきたいです。教員説明会に出す前に、本部の方が齟齬がないか最終チェックをしていただきたいです。

支援学校部門を一括で、だいせんの上野山が受け付けることになっていましたが、各ブロックでの申し込みに変更しても良いのではないのでしょうか。（今年度も支援学校で出品しているのはGブロックのみでした。）

ブロック会議に参加していない学校が急に高校展に出品することは少ないと思います。

また、私（上野山）に連絡があった場合も、最終的には各ブロック長へ連絡して申込受付をする流れになるのではないのでしょうか。

○搬入出について 何かお気づきの点がありましたらご記入ください

昔みたいに2階も使用して欲しい。

通路狭いが譲り合って通行していて良かった。館内放送使えず、拡声器の声でBとDが判別し辛かった。「デー」とベツタリした発音にするか、Bだけ何か独特の呼び方に変更するかの方が良いと思います。

- ・搬入出担当の先生方を中心に非常にスムーズでした。ありがとうございました。
- ・雨が降らなくて・台風が来なくて本当によかった。
- ・放送が使えないのが大誤算でしたが。
- ・展示についてになりますが、壁面3mの効果は絶大。脚立でできる作業が大幅に増え、かなりスムーズになった。

トラック誘導の先生、通路で指示する先生たちの動きが素晴らしかった。おかげで混乱を避けることができた。想像していたより、スムーズにいったのではないか。館内アナウンスが使えないため、拡声器をいくつか用意しても良いかもしれない。

地下入口が詰まって停滞して、生徒が炎天下で並んでいる・・・というのは何とかしないとイケないと思います。館内に入ってすぐの広い空間をうまく使えないか・・・。

搬入経路誘導担当でしたが、次の係の方が来られず、そのまま続きで当番をしました。(A・B担当2名とも来られませんでした)本校は教員が複数いるので対応できるのですが・・・もし搬入や展示で忙しいということであれば、一報もらうなどできればと思います。ただ、顔がお互いわからないので、控室のホワイトボードに伝言板をつくって当番前に確認する?など情報共有・確認できる方法があればと思いました。また、ホールにはトラックを待つ先生方がたくさん立っておられるので左側通行の声かけをお願いし、A・B(通路)、ホールの三か所合わせて1名でも良いと思いました。通路は狭いので一人でも十分と思いました。

特にありません。

搬出は何故2日間必要なのか疑問でした。また、初めに頂いた出品要項には搬出が28日しか記載されていなかった為戸惑いました。連休前に突然ヘルメットが必要だと連絡が来たり、搬出時にトラックの時間がいきなり変更になったりと緊急で学生と顧問に共有しスケジュール変更をかける作業が多く感じました。今年初めて絵画作品の描画部分に何かがぶつかって禿げた作品が2点ほどがあり残念でした。

最終日の梱包材を出す作業の際に、すべて梱包材を各学校へ配布し終わるまで生徒みんな手伝ってほしい。自校の梱包材が出てきた学校から梱包をはじめてしまったので(気持ちはとてもわかります。みんな早くやりたい。)だんだん人手が減って、自校の梱包材が出てくるまでなかなか作業に入れませんでした。

ヘルメットは、今後も必要なら持参ではなく美術館に常備していただくなど、全体での購入や管理をご検討いただきたい。

搬入の日が授業や成績提出にかぶり、顧問が引率できない状況があった。調整いただけるとありがたい。

校内担当であったため、現地でのご苦労については不明ですが、大変だったであろうと想像しています。

搬入の時、来たトラック順に積み下ろしになり、時間が早まったため生徒が到着しておらず手伝うことができなかった。

【搬入】搬入開始が12時の予定でしたが早くトラックが着いた関係で12時から搬入作業が行われていました。その結果、館内に入れない多数の生徒が炎天下のなか外の階段あたりに溜まっていました。作品を早くトラックから下ろさなければならぬことは分かりますが、やはりこの気温なので熱中症のリスクは考慮すべきだと感じました(12時までは生徒を館内に入れることを優先する、生徒集合時間をもう少し早めに統一する、生徒の誘導係の教員を配置する、など)。

【搬出】ブロックごとにトラックが来ても、そのトラックに積み込む学校の順番が厳密に決まっているので、呼び出す順番はブロックごとではなく学校ごとの方が良いと思います(順番を間違えるとトラックの前で待たされることになって効率が悪い)。事前準備として、①展示場所が離れている作品は可能な限り一カ所にまとめておく(1室の絵画と4室のデザインを1室にまとめておく等)、②トラック到着が近づいたら各校顧問はホールに集まり1番目と2番目に積み込む学校はその順でスタンバイ、③1番目に積み込む学校が終了したら3番目に積み込む学校を呼びに行く...、という感じにすればロスは少なくなると思います。

搬入出時に、他校の作品を運ぶのを手伝うケースがあると思いますが、自分たちの作品が展示場所にあった学校が、手伝うことなく展示作業に移っていましたが、全体としてのルールはあるのでしょうか。本校は手伝いを済ませてから、作業に取り掛かりましたが、あべこべな状況があったので、生徒への説明に困りました。

搬出準備を展覧会最終日に行ったので当日のバタバタが少し減ったと感じました。

放送ができないので、第1室や第4室にいとトラックの状況がわからず早めに入出口付近に来てしまい困ったので、情報伝達のシステムがあると嬉しいなと思いました。

【搬入出係より】

<全体>

- ・到着連絡用メガホン、駐車場連絡用トランシーバー3点が必要なので、高校展部で購入してほしい。
- ・地下入口の交通整理が大変そうだった。係外の有志の先生も手伝ってくれていた。
- ・地上駐車場の立ち番は、搬入出共に後半の時間帯は必要なさそう。
- ・台車の使い方(押すのではなく、引く)をきちんと生徒に伝える必要がある。
- ・アルバイトに指示をする係が別に必要。
- ・アルバイトは、地下入口に2名、道路入口地点に2名必要。
- ・地下入口前はトラックの動きが頻繁にあるため、その都度生徒の動きを止めたり、危険がないように誘導したりしたが、話を聞いていない生徒や、勝手に動く生徒がおり、危険な場面があった。次年度は各校できちんと指示を聞くように指導しておいてほしい。

<搬入>

・トラックは概ねどのブロックも少し早めに到着したが、比較的スムーズに搬入作業を行えた。30分以上早く到着したブロックもあり、地下入口前に駐車はできたが、生徒が来ていないため搬入が進まないということがあった。次年度は到着時間を厳守してもらうか、生徒に1時間は早めに美術館に来ておいてもらう必要がある。(終わりの時間のことを考えると生徒に早めに来てもらっておいて臨機応変にやっていくのがいいかも)

<搬出>

- ・予定より搬出時間が早まったことが原因か、美術館に早く到着しすぎるトラックがあり、駐車誘導に苦労した。次年度も8:00～搬出が可能なのであれば、初めからその予定で計画しておきたい。また、基本的には美術館到着時間を守ってもらうとして、早めに到着した時に対応するため生徒を早めに待機させてほしい。
- ・当日、搬入口で車番の確認できないトラック、自家用車があった。申請されていない、または美術館から公園事務所に連絡されていないものと思われる。

○会場当番について 何かお気づきの点がありましたらご記入ください  
問題ありません。

トイレのチェックは巡回の中に入れてもいいかと思いました。  
人数多いかと思いますが、何かあった場合を考えると現状ベターな気がします。  
本校校長が作品を一部見つけられなかったとのことで、館内見取り図の設置場所は地下入り口正面がより見やすいのでは、と感じた。  
今回は担当なし。皆さんお疲れさまでした。

①ローテーションの順番にこだわる人はあまりいないと思うので、当日その場で話し合っ決めてではなく事前に決めておいていいと思います(欠員が出たときは臨機応変にできるでしょう)。

②鑑賞レポートを忘れた生徒に対する対応を統一した方が良いと思いました(他の紙を持ってきて「ここに押してください。」と言う生徒が多数いて困りました)

案内してくれと仰る方が結構おられました、席を離れられないので、、、アルバイトの方が休憩の間などは右往左往した。トランジパーでとか、パトロールの人に連絡するすべが欲しかったです。

余計ややこしいとは思いますが、、、全総文みたいに生徒スタッフとかはなしですか？

休憩時間が考慮されていないことに驚きました。今回、会場当番の先生からのメールを見て、土曜日から木曜日に当番を移りましたが、休憩時間がなくいままで正直しんどかったのが率直な感想です。適宜水分補給などの休憩を取りましたが、役割説明のときにも休憩に関する連絡がなかったと記憶しているので、来年度は改善されていることを望みます。

最終日の会場当番の仕事が15時で、ほぼ終わったので搬出準備に関する部分で仕事があっても良いのかもかもしれません。

○全体で何かお気づきの点がありましたらご記入ください

デザインパネルの方にも、校名札は付けてほしい。

係の先生方、ありがとうございました

絵画壁面下の養生用シートにも大きく校名を書いておくか、間違いにくい個性的なシートを使うかの方が良いと思いました。シートの上を目印として自分の鞆を置いていたのですが他室の展示に行っている間に鞆を移動させられていて、絵画を梱包していたシートと床の養生用シートの両方も片付けられてしまい、結局梱包用のシートは紛失してしまいました。ここで言うほど大したことではないのですが、包まないと作品に傷がつき修復に苦労したことがあり、梱包材は以前にも名前を大きく書いていたのに取り違えがあったことを思い出し、気をつけないといけないだったと反省しました。

- ・本当にありがとうございました。古屋先生はじめ高校展部のみなさんには感謝しかありません。
- ・お金が最大の問題なので、今回の決算を8月中に出し、その具体的な数字を元に、今回の分析と今後の見通しをお願いします。
- ・知りたい具体的な数字：

①収入（出品料・広告など）と支出（会場・トラック代・印刷など）、

② ①の過去との比較

③収支と今後の見込み

④今年度の出品数（各部門、過去との比較、絵画は可能なら過去のサイズの比較も、無理なら今年だけでもサイズ毎の数）、

⑤入場者数（過去との比較）

- フックの形がものによって違うものがあり、作品が水平にならない。
- ぞうさん・きりんを取り合うことはなく、高めの脚立で十分展示ができた。
- 人口密度が高く、暑かった。水分をこまめにとるよう声掛けするべき。
- 共同搬入出の作品に「●ブロック第●室へ」と大きく貼っておくほうがよい。  
美術館の入口で右か左か迷う生徒がいたので。
- 壁面見取り図がとても見やすかった。

「トラック誘導係」でした。ベテランの先生や他の先生方の奮闘で、トラックの出入りはまずまずだったのではないかと思います。アルバイトの方々も、とても頑張ってくれていました。一番の問題は、地下出入口が狭すぎて往来がうまくいかないことかと思っています。ご担当の先生方のおかげでスムーズに動くことができました。本当に疲れ様でした。

搬入、搬出を1日ずつにして欲しい。搬入時に美術館の冷房が弱すぎて具合の悪くなる学生が複数名いたので改善して欲しい。搬入日と学校の採点×切日が被っていたので、8月1週目くらいの開催になるととても有り難いです。

審査が、高校生に対してとても厳しいとおもいました。優秀賞は、厳しくても良いですが、みんなが芸大にいくようなレベルの生徒ではありませんし、奨励賞は、できればおおらかに、もっとたくさんの生徒につけてあげても良いのではないかなと思います。頑張ろうとおもえるような審査をしてあげてほしいなとおもいます。

高校展部の先生がた本当にありがとうございました。

会場の入り口がどこかわかりにくいように思いました。一般の人が入れるように、明示してはどうかと思いました。会場内の案内パンフレットが上質の印刷物で、もっと簡易の用紙にすれば費用の節減につながるかもしれません。今回は、本校では、「さくら通信」のアプリを使用し、保護者・生徒に案内をしました。ネット配信用の案内画像があれば添付もできるように思います。案内葉書も経費節減の対象にしてはどうでしょうか。

研究会費の徴収について、本校校長より意見あり。内容は、現在教員が研究会費を個人負担しているが、文書番号をつけた上で研究会から発行し、「各学校宛」にして正式に請求があれば校長マネジメント予算で支払うことができる、そのようにしてはどうか、というものでした。

養護教諭の研究会や家庭科などはその形で請求があるため、毎年予算に計上し、支払っているとのことです。

予算案を組む際にその見通しが立っていることが必要になるため、もし来年度その形が実現する見込みがつけば今年度の3月までに事務室や校長にその旨を伝えてくださいと言われました。

もし必要であれば、他で発行されている様式が手元にあります。この様式を元に研究会費請求書を作り替えていただけるようであれば、データをお送りしますので宛先を教えてください。

ブロック展と異なり、やはりいろいろな作品を一度に観賞できるのはいいですね。感動しました。良い作品がたくさんあって、高校生の力を感じました。

やはり1会場でやると見応えもあり、生徒の学びもあり大変良かったと思います。担当の方は本当に大変だったと思います。ありがとうございました。

絵画の校名札の下に壁面見取り図を付けるのはいいと思うのですが、各校わりと自由で作っておられたので、作り方を統一した方が良かった。

名札に画材や材料、素材が書いてあれば、、、と審査の時に思いました。仕切られていた先生方、本当に疲れ様でした。良い作品展だったと思います。

- ・美術部の顧問になって、はじめての大阪市立美術館での高校展に参加し、美術科の先生方にとって当たり前かもしれない暗黙の前提的な事柄が共有されていないように感じました。（搬入時の動きや当番時の動きなど。自分で聞けばいいだけの話かもしれませんが）
- ・動きを知っている前提で事が進んでいるように感じました。

## 第76回高校展 振り返りアンケート(高校展部)

○会期について

お盆に重なるよりは良かったです。一年前から会期は分かっていたので心積りができました。

時期的に早かったですが、夏休み中の教員負担を考えてもこれぐらいの方がありがたいです。

制作の追い込み時期と成績処理会議等が同じ時期だったため少し厳しかったです。夏休みにも少し制作ができるように、もう1週間程後ろの会期だと嬉しいです。ただ、8月に高校展の仕事がないため、他の仕事ができることや休みを取れることは大変ありがたいので、今回と同じ会期でも賛成です。

もう1週間遅い時期が良かった。夏休み入ってから描けないのはキツかったです。

せめてあと1週間程度遅いと助かる。

夏休み入ってすぐというのがメリハリがあつてとても良かったと思います。時期が早まって準備等大変だった面も多々あるかと思いますが、

終わってからの夏休みを、次は文化祭に向けてなど、有効に過ごせそうに思います。(夏休みが短い学校は特に)

生徒の制作時間も、締め切りに向けて計画を立てるのはいつでも同じことなので、心配するほどカツカツでもなかったと思います。

今回の日程が良いです。

生徒にとっては夏休みに制作することがあまりできなかったが、本校美術室にはクーラーがなく、夏に一日中制作することができないので、妥当かもしれません。教員も8月ゆっくりできるので、慣れれば可能な会期かと思いました。

わかっていただけ早かった。制作時間の確保ができず困った。

もう一週後がいい

例年より早いのが、なんとかなった(なんとかした)。制作期間も短い、だから引き伸ばすよりいい。短期集中で制作できた。

この会期でも可能ですが、できれば1週間後ろにずらしてほしいです。

•生徒にとって

開始が早い分夏休み前から見通しを持って制作できていて良かったと思います。

•教員にとって

終業式前に目録や搬入の準備があり、担任業務と重なり少し忙しなかったですが、夏季休業中の部活動が少なく顧問の負担を軽減できたためありがたかったです。

少し早すぎるが、今年度は致し方ないと思う

会場について

動線がわかりづらいので、左側通行などの指示を掲示するなど一目で分かるようにした方がいいと思います

久しぶりの美術館に懐かしさを感じつつ、北摂地区の生徒からしたら少し遠いのが難点だなあとという気持ちもあります。

久しぶりの美術館はやはり雰囲気がとても良く、作品もたくさん並べることができて見応えがありました。天王寺なのでアクセスがとても良くて便利です。生徒からすると遠いとのことですが、都会へ行くことも勉強になって良いと思います。ただ、美術館で一斉開催となると分散開催と比べて高校展部の仕事が大変だと思いました。

美術館での集合開催、やはり良かったです！生徒にとっても、私自身もすごく刺激になりました。

美術館で一堂に開催できるのは良いと思う。

素晴らしかったです。生徒に良い刺激となりました。

今年度の会場が良いです。

美術館の知名度、立地、会場や壁面の大きさ、など、生徒は驚きつつも喜んでいました。

美術館側が高校展に対して割と好意的だった。放送ができないなど少し困る事もあった(部長)

30号をよしとしたせいか、壁面に余裕ができた。港南造形高校は校内審査せずに全員出品することができた。よかったと思う。

これからも大阪市立美術館での開催をお願いします。

とてもいいです。沢山の人の見えてもらえて生徒たちの励みになっていました。

良い

○教員説明会について(住吉高校)

提出書類の忘れなどがあったので、直前にブロックで何度も確認すれば良かったです。

大きな机、椅子移動がなかったのが、高校展部の集合はもう少しゆっくりでも良かったかなと思いました。

綺麗な会館で説明会会場としてはありがたかったです。

少し手狭でしたが、全員が集まれる場所を借りれたことだけでとてもありがたいと思いました。

搬入出についての動画が分かりやすく良かったです。

とても丁寧でありがたかったです。搬入動画がとてもわかりやすく、生徒向けにも相応しかったと思います。

今回の会場が良いです。

北摂地域からの学校にとってアクセスしにくく遠く感じました。

動画があつてわかりやすかった。出品料の支払いタイミングがわかりにくかった。行きやすい会場をありがとうございました。

各部門の打合せを先にする方がよいと思う

スムーズに進行したと思う。が、せっかく一同に会しているの、違反作品について、もう少し具体的に説明があつてもいいかと思った。(特に他教科の学校、非常勤の学校の先生方に伝わるように)

わかりやすかったです。

申し訳ありません。参加できませんでした。

2階での集金が大変そうだったが、駅が近く大阪市内で良かった

○展示計画作業について(港南造形高校)

3室の割り付けを担当しました。事前にある程度どのブロックをどの部屋にと、決めていただいていたので、スムーズでした。

立体に関しては、過去データを参照し、出品量で調整すれば問題なく時短出来ると思います。

平面は、ガラスの隣を開けてもらうなどしてのがよかったです。出品キャンセルなどで空きが出る場合は、どちら詰めで展示するなど決めておくと、立体との展示効果の兼ね合いが取れると思います。

初めて参加させていただいたので見当違いの意見かもしれませんが、今回の作品数だと壁面に空きが出たので、来年からは空いた壁面の前に大きめの立体を置いたりしてはどうでしょうか？

とてもスムーズだったと思います。資料や入力用データ、作業場所など、事前に準備して下さった先生ありがとうございます。

m数が判った時点で、ブロックの部屋の割り振りを変えられる方が良いが、それだとトラックの計画ができないかもしれない。(係より)

欠席しました

初めて参加させてもらいましたが大変ですね。

申し訳ありません。参加できませんでした。

とてもスムーズだった

○割付作業について(大阪市立美術館)

3人で3室の壁面に学校名を貼ったのと、境界線と上限330にマスキングテープを貼りました。30分はかかりました。12時には終了しました。

デザインの間隔がまちまちだったので、穴の数などで間隔を合わせた方がいいと思いました。

割付で使ったピンクのマスキングテープで薄い色のものがあり、搬出時に気付かずいくつか剥がし忘れてしまいました。濃い色や蛍光のものを使った方が良かったかなと思いました。

すみません。遅れて行ったので参加していません。

当初一室につき2人1組で、という指示でしたが、メジャーで壁面の長さを測る作業もゾウに乗りながら高さの印を付けるのも最低3人は必要です。

少し早くから美術館に入ることができたので良かった。

急遽11:00集合にさせてもらったが、やはり前の団体が早く終われば少し早く入れるので、早めて正解だった。(部長)

展示前に高さ3.3mの印をつける作業を行った。が自校の搬入も同時間にあり、あと数人はこの作業にあたる人員が必要と思った。

特に気になることはありませんでした。

マスキングテープの色をもう少し目立つ色にしておくと、展示の際見やすく、搬出の際の剥がし忘れも予防できるかなと思いました。

参加できずすみません

○金具等について

各学校に配布した金具があとで混ざらないように注意しなければならないと感じました。

係の先生がスムーズに受付してくださりありがたかったです。

途中で鎖が無くなり、急遽対応してくださりありがとうございました。

生徒が慣れておらず展示中にポロポロ落とすので、脚立の上の人より下で支えてる人の方がヘルメットいるかも、と思いました。

美術館が、協力的でなかった。

どのぐらい必要か、多めに伝えた方が良い。

金具33.43キロ、鎖30.71キロ、止めゴム1.89キロを美術館より借りた。貸出の途中で鎖が不足し追加で借りて最終的にこの量になった。

高校展部が独自で持っている金具は約1050個。

港高校が持って帰って、後日送ってもらった。

高津高校が紙と金具をセットで持ってこれていなかったなので、返却ができていいのか不明。

特になし

チェーンの使い方が難しかったので、全部は使いませんでした。微調整する場合はチェーンの方が使いやすかったです。

特にありません

良かった

○目録について

審査用目録と入力用目録を対応できるように(並び替えなど)しておくとう入力しやすかったです。

瀬島先生毎年ありがとうございます。

今宮高校の瀬島先生が全てを担ってくださっていて申し訳ない(でも、自分が代わりにすることはできない仕事量だと思った)ので、各ブロックの目録係(高校展部員)が印刷して教員説明会に持って行ったり、搬入や審査の際に入力確認するのは難しいでしょうか？ミスが増えてしまうかもしれませんが、分散開催時は各ブロックでやっていたことなので分業できないものでしょうか？

目録主担の先生がとても大変そうなので、分担できる方法を考えられたらと思う。

長の先生にお任せしっぱなしでした。申し訳ありません。

特になし

各校がフォームで入力して送信し、始めから全体管理できるほうが良いと思いました。その後作品にID番号などつけたら、教員説明会の時に各校にチェックして削除変更などを返してもらい時も便利です。審査でも使いやすいのではないかと思います。

特にありません

間違いの修正をお願いするのが申し訳なかった。ぎりぎりまでブロックの目録係が、訂正をし、搬入日に統合してはどうか？(エクセルを並べやすくしておく)

○搬入出について (共同搬入出)

Aブロックはおおむね、スムーズでしたが、集荷の日に忘れていた学校さんがありトラックを外で1時間半お待たせしてしまい、社長さんからおしかりの電話をいただきました。

Hブロックは最初をお願いしていた岸和田運送さんが担当者さんによって対応や返答が変わるので、結果的になかなかトラックが決まらず、トラック系の泉大津高校の石井先生にご負担をおかけしました。今後、安定してお願いできる運送会社があるとありがたいです。

Fブロックについては問題なかったように思う。

このままで良い。

地下入口の動線整理の先生のおかげで特にぶつかったりすること無く無事にできた。

結局ブロックごとにトラックの手配をすることになり、この金額が高すぎると思う。このままでいくならば出品料の値上げもやむなしと思う。

美術館の床に敷くビニールシートはトラックに積み込んだらダメなことを知りました。。。

声を出してくださる先生方のおかげでスムーズに進んだかと思えます。

できれば、どちらか1日にしたい。また、トラックの時間を早めたのは大変だったと係の先生からご指摘を受けた。

〈搬入〉

マスキングテープの剥がし忘れや、完了報告をする・しないなどがありました。

誰に聞いたらいいかわからないという先生も多かったので、高校展部員が分かるように腕章など目印があると良いと思います。各部屋に各分野の担当高校展部員をおき、終了報告の際に間隔やマスキングテープなどをチェックしたらいいのではないのでしょうか。

立体は、平面が終わらないと展示確定できない(ゾウや脚立・人通りが危ない)ので、展示量が多い学校は可能なら平面と立体の展示時間を分けた方がいいと思います。

展示台を勝手に作業台に使う。壁面の展示全体を写真に収めようとして展示台にぶつかる。生徒を入れた壁面の写真を撮るために展示台を移動させる。などの様子が見られました。

Hブロックはトラックも予定通り集荷していただき、スムーズに搬入できました。

展示監督でしたがそれと分かる印(腕章など)がなく、なんとなくウロウロしていたものの終了報告を受ける事は一切ありませんでした。今回はそれでも特に問題ありませんでしたが、ブロック内で展示監督をあらかじめ周知しておくとか、見た目で見分けるようにするとかして、展示終了後に確認してから帰っていただく流れが必要かなと思います。

スムーズでした。

前日集荷を行った。そのおかげで搬入日は余裕があった。トラック台は高くついた。

前日にトラック集荷だったのでゆとりはありましたが、休日出勤がちょっと辛かったです。

梱包材を集める際、各校に脚立は3室ではなく受付の方に持って行くことと、港南造形の梱包材は脚立の部屋に持って行くということを事前にもう少し強調して周知しておくべきだったと思いました。(脚立を3室に持ってきてくれる生徒や、港南造形生で梱包材を3室に持ってくる生徒たちがいたので)

係の先生方のおかげでスムーズだったと思えます

展示監督の先生に役割を当てるのを忘れておりました。申し訳ありません。(部長)

〈搬出〉

事前に伝えられた時間を直前に変更すると、生徒・教員ともに対応が難しいです。また、時間を守って来る生徒が来た時に焦ったりやるのが無かったり、早く来た生徒の負担が大きくなるというのはおかしいと思います。多くの出品生徒全員に搬入出の体験をさせるのは重要だと思います。

前日の梱包作業の時に、少しだけ脚立の手伝いをさせていただいたのですが、所在不明の脚立が多く、時間がかかりました。また生徒と教員がブロックを把握しておらず、手間取ることもありました。

①表彰式が終わったら、少しだけ審査室にも出してしまおう②前日梱包しない学校も含めてブロックごとに台車で配ってしまう③並べる順をあいいうえお順にする等工夫が必要かと思いました。

Hブロックのトラック到着時間を10:00にさせていただき、大変ありがたかったです。美術館の出入り口の誘導も生徒が入り乱れることなく、とても分かりやすく指示していただきました。トラックの出入りもたくさんある中で先生方やバイトのスタッフの方の生徒への安全の配慮が丁寧でした。10:30頃には、Hブロックの学校は美術館を撤収完了できました。

8時から作業させてもらえるのはありがたかったです。いかんせん急だったので、来年度も同じ条件ならもう少し計画的に作業できるかと思えます。

美術館が協力的でない。8:00から開けるというアナウンスが遅く、バラついた。

おおよそスムーズだった。

港南造形高校が早い時間に作業してくれていたのが良かったと思います。集合時間・作業開始時間に差をつけてもらっていたのでダラダラと作業することなく短時間でできました。

脚立係でしたが、搬入の際に預かる係だった先生が搬出の際にいてくださると、ある程度の場所を把握されているはずなので生徒への返却がスムーズだったかなと思いました。

もう少し、ブロックごとで打ち合わせをし、分担を決めても良いのではないかと？(片づけが作者本人しか無理な場合を除く)

#### ○賞・賞審査について

審査進行係は審査を進行するのであって、審査内容に介入するのはおかしいのでは無いかと思います。何のために審査委員を組んでいるのか、事前に進行係の高校展部員にしっかり説明を行うべきです。  
小作品奨励賞は見たことがないので、付けない賞は掲示しないで欲しいです。

暑い中審査に携わってくださった先生方、ありがとうございます。部推奨シールがたくさん貼られているのに優秀賞ではなく奨励賞になっている生徒が何人か複雑な気持ちを抱えていました。鑑賞者も「なんで？」という反応でした。自分自身も審査経験があるので、審査の難しさはわかりますし、今回の審査がどうこうという話ではないのですが、「生徒の目線で納得できる審査結果」を模索していくことが今後も大事なのではないかと感じました。

絵画審査を担当しました。スプレッドシートでの投票と集計、すごくやりやすかったです。(詳しくは絵画審査引き継ぎ書に記入。)今回作品点数が以前より多かった事もあり、入賞レベルが高く選定が難しいと感じました。

出来るだけたくさん先生の先生方で投票などの形で選定できれば、惜しくも賞にもれた生徒にも励みになるのかなと思います。(取りまとめが大変だとは思いますが) また、デザイン部門の入賞数がもう少し増えても良いのかなと思います。

ケータイから入力することで、手を上げずに投票できる。集計も早く、効率が良くなった。データ係が必要。(係)

個人的には高校展は無審査のアンデパンダン展でいいと思う。審査のおかげで毎年同じような作品(時間をかけた手数の多い具象作品)が現れていると思う。もっと賞を意識せず、自由にやればいいのにと毎年思う。また、賞は生徒のやる気、モチベーション向上にはいいかもしれないが、賞審査があるから発生する仕事が多い。目録係、審査員、賞状作成、表彰式。

どうしても賞がいるのならば、推奨シールのように、高校展部員が「...先生賞」として単独でシール貼るだけでよい(作者が希望すれば...先生の講評を直に聞ける(限定2名)とか笑)。

特に気になることはありません。  
素晴らしかったと思います。

この方法でもいいが、参加者全員のGoogleフォーム審査で投票し、それを参考に審査員が

#### ○会場当番について

美術以外の教科の先生方も増えているので、分かりやすい当番内容や引き継ぎノートを置いておいた方がいいのではないのでしょうか。  
ゴッホ展をやっていたこともあり、外国の方も多かったので、英語表記の掲示などもいるかもしれません。

最初、高校展部の会場当番と高校展部以外の先生の会場当番の違いが分からず、高校展部ではない方の会場当番に混ざってしまいました。すみません。

欠席は2名。先生にはご連絡した。(部長)

特に気になることはありません。

2,3回は当たると思っていたので、皆さんで分担してくださった分負担が少なく驚きました。来年はもっと貢献できたら幸いです。

特にない

#### ○各部門について (絵画)

展示の上限を決めていただいたので、時間短縮につながってありがたかったです。

時間がない中でも大作に挑戦している人が多かったし、丁寧に誠実に描かれた良作が多く好感が持てました。

今回の展示方法3mまででも十分見ごたえはありました。

スペースが広く、本校は希望者全てが出せたため、未完成の絵もありもう少し完成度を上げられたらと思いました。

特にない

#### ○各部門について (版画)

「版画」と「デザインイラスト版画」を区別してもいいと思います。

素晴らしかったです。

特にない

#### ○各部門について (彫刻立体)

素材の使い方など、授業の参考になりそうなものが多くありました。

展示から外した作品は2点。頭部にラップが巻かれている作品については、窒息や暴力を連想するという理由から外した。本人は作品は変えず展示不要とのこと。心臓を持った白い手の彫刻。血が垂れているように見える部分を修正して展示。(部長)

虫眼鏡付きで触っていい作品がありました。触れることのできる作品は面白いと思いますが、高校展ではどうでしょうか?展示台にもたれて虫眼鏡をのぞいている女の子がいて、危険だな・・・と感じました。「気を付けてください」の注意はさせてもらいましたが、ずっと会場当番が見張っておけるわけではないので、何かあった時のことを考えると触れてもよい作品は展示しない方がいいように思います。

レベルが高いと感じました。

特にない

#### ○各部門について (デザイン)

今年はテーマ部門が思った以上に出展が少なくてびっくりしました。ポスターも少なく感じました。イラストが多岐にわたるので、デザイン部門について再考しても良い気がしました。今回は審査の係ではありませんが、もし自分が審査するとなると、審査基準が難しく大変そうだと思います。

テーマ部門が少なかったのは少し残念でした。

テーマ部門が寂しく感じました

テーマ部門の出品が少なかった。取り組みにくいテーマだったんですかね。

テーマ部門ていりますか?

特に気になることはありませんでした。

しっかり描けているもの、シンプルで見やすいデザインのもの審査で選ばれており、良かったと思います。

賞がきびしい印象がある

#### ○各部門について (工芸)

特に気になることはありませんでした。

素晴らしかったです。

特にない

#### ○各部門について (支援)

堺支援とだいせん聴覚支援学校から出品あり。審査基準に合った形での出品だったため審査対象となっている。(部長)

特に気になることはありませんでした。

よかったです。

特にない

#### ○表彰式について

台車を半分ほど解体して、保護者席をもう少し確保できたら良かったかなと思いました。

三年生の受賞者が模試で欠席の場合が多かった。

表彰にあたっての引き継ぎがないままに引き受けたので、かなりの仕事量に困憊した。賞状作成に2日かかった。PCのフォントで出せない外字作成は厳しい。表彰状のフォント変えましょう。表彰式会場設営も2人。表彰式はなくてもいいと思う。

参加できていませんでした。すみません。

良かったと思います。保護者の皆さんがみんな入れているといいのですが、少し窮屈そうでした。

ロビーもしくは、もっと広いところで行いたい

#### ○鑑賞レポートについて

初めて自校で鑑賞レポートを宿題にしてみました。高校展の宣伝にもなるので、鑑賞レポートがあるとありがたいです。

レポートを書く場所はなかったですが、特に混乱はなかったかと思えます。

学校での指導として、どんな紙でもハンコを押してもらえると書いているところがあり、いろんな紙の切れはしにハンコを押さざるをえなかった。

特になし

来年度もお願いします。

いいと思います。

良かった

#### ○推奨シールについて

美術部の生徒でも搬入で周りの作品を見て満足してしまい、別の日に鑑賞しに行くことを少し嫌がるので、推奨シールがあると美術部の役割としても鑑賞に来る理由付けになり、ありがたいです。

賞がない作品や奨励賞でも沢山つく事があり、生徒は喜んでました。

このままで良い。

押しシール、受賞と関係なく高校生の気持ち反映されるので、受賞していない作品にも貼られていて作者は喜んでいました。

このままでよい

部門ごとに貼れませんでした、今後も続けてほしいです。

励みになり、他校作品を見るきっかけにもなっており良かったです。

良かったが、Googleフォームで合宿情報等も集めても良いのではないかな？

#### ○出品要項について

高校展実施にあたって、書類が多すぎると指摘があった。情報があちこち分散している。そのとおりだと思う。もっと一括にシンプルにできればいいと思う。

特に気になることはありません。

わかりやすかったです。

わかりやすかった

#### ○出品料・運用用途に関して

このままの出品料でいけるとは思わない。今年の収支を検討して来年度の値上げを考えるとところだと思う。

特に気になることはありません。

出品料未納のまま直前で辞める子がいるので、出品料を教員が負担している現状があり、対策が必要だと思いました。

トランシーバー・拡声器・メガホンが必要

#### ○サテライトマップについて

広告の間違いは収入減になるのでちょっといたいです。

会場案内図はある程度分野や学校名が分かればよいと思います。今回ほど細かくなっていいと思いました。

折り方を変えたが問題ないように思う。

マップとしては必要ないと思いますが、協賛もらってる大学の広告を載せるためのもの、ですよ。

わかりやすかったです。

いいと思います

良かった

#### ○全体を通じて・その他

大きなトラブルもなく開催できてよかったです。

久しぶりに集合開催できてよかったです。

感動している生徒も多かったように思います。

3年ぶりの美術館開催で教員も緊張している中、いろんなことがスムーズに進み大変ありがたかったです。各係の先生方、特に部長の古屋先生、本当にありがとうございました！

一昨年から高校展部になり、今年は初めて美術館開催で高校展部のお仕事を体験してみて、とても大変な仕事だと分かりました。育児短時間勤務や自校の仕事をしながらでは、なかなか高校展部のお仕事をすることは難しいと思いました。できる部分でしか参加できなくて申し訳ないのですが、できる人がやるという状態に頼る形の運営でこのまま高校展を続けていくことに申し訳なさや限界を感じます。現在、仕事量の削減を進めていると思いますが、高校展についても引き続き必要だと思いました。主になって高校展を運営してくださった先生方、本当にありがとうございました。

古屋先生はじめ様々な準備や対応していただいた先生方、ありがとうございました。

フルヤ先生をはじめ、各責任者の先生方のお力で大成功に終わったと思います。本当にありがとうございました。

あと些細なことですが、搬入の際、アルファベットのブロック名がとても聞き取りにくかったです。せめてルートはA.Bを使うのをやめた方が良いでしょう。

美術館が協力的でないので、頑張って交渉するしかない。

数年ぶりの大阪市立美術館での開催、古屋先生始め、関係の先生方ありがとうございました！

絵画の3メートルは3.3メートルにした方がよい。

校名札の高さがめちゃくちゃだった。

デザインは穴2つ分下げる。各校の脚立で展示できるようになるし、推奨シールも貼れる。

キリンはもう使わなくてよい。

拡声器とトランシーバーは買う必要がある。

高校展部の会場当番は部長が全日入って、毎日来ていただいた先生もいたが、今後は副部長どちらか一人は常に居て欲しい。高校展部の会場当番について、審査と会場当番を兼ねることはなるべく避けてほしい（部長）。

最後の見回りの際に、清水谷高校の壁面に手型が残っていたのを拭いた（清水谷のものかどうかはわからないが拭いたら取れた！）。そんな事もあるので、3~4人残ってほしい。また、次年度から展示前に自校壁面を撮影しておいてもらうようにしたい。（部長）

ポスター、DMを例年よりかなり早く作成してもらいました。

高校展を考えるにあたって、以前の高校展に戻すのではなく、様々な面で「昔とは違う」という切り口で考える必要があると思います。まず、昔とは違う夏のこの酷暑。この時期の搬入出はきつい。台風も多い。トラック代は高騰。教員の意識や状況。美術の教諭が減り、他教科の顧問の先生が増えています。高校展には出品したいが、運営には関わりたくない。結局高校展部にまわされた先生方の犠牲で成り立っている。美術館の耐震工事での3年の分散開催を経ての76回展。2年前からかなりの時間を割いて会議や書類作成の過程を経ての実施。私は昨年度の空き時間はすべてこれでつぶれました。授業の準備など二の次です。クラスの揉め事、分掌の仕事いっぱいあります。後回しです。

はっきり言って不公平だと思います。

今後も高校展を継続していくならば、研究会会員全員高校展部やってください。

それができなければ、今の修学旅行のように、外部の企画会社に外注する行事だと思えます。それで出品料が大幅に上がっても致し方ないでしょう。もしかしたら企画会社がトラック一括にしてコストカットできるかもですね。美術館での実施はやめて、ネット上での発表にするのもひとつ。

いろいろと勢いで書きましたが、高校展をこれからも継続するか、も含めて検討する時期にいると思います。

高校展が始まった昔のように、志のある教師が集まって、手弁当で「生徒のためならいっちょやってみるか」、という時代ではありません。

3年ぶりの大阪市立美術館！やっぱり全体で開催するほうが学びや感動がありますね。皆様おつかれさまでした。

天王寺での開催が実現し、本当に良かったと思います。生徒も見通しが立ち、来年はよりスムーズにできるかと期待できます。ありがとうございました。

大学の資料・相談コーナーを設けてはどうか（1m×1mあたり5千円？）ブース（パネル4枚 180×180cm 3万円？）展示台やパネル・机・椅子は、持っている学校のものを使用し、資料を送ってもらう。もしくは、学校さんに直接搬入していただくか選択してもらう

また、搬入出も1社にスポンサーになってもらい、広告をポスターに入れさせてもらうのはどうか？また、77回展から78回展のポスターを課題に戻してはどうか？

**【出品者数】**

グラフィック 34、イラスト 52、日本画 21、洋画 61、彫刻立体 28、陶芸 48、ガラス 10、漆 12、染織 6、版画 20、計 292 名

**【搬入搬出】**

- ・搬入が 8:00 から可能になったが、直前のため対応できなかった。  
はじめから聞いていたとして、教員生徒も 8:00 から取り組めるかどうかは分からなかった、8:00 からは無理だったかも？要検討。
- ・作品などに貼り付ける出品票に、ブロックと部屋番号まで書いておいた方がよい（同じブロックではない学校が、積み下ろすことがあるため。トラックの到着が早く、違うブロックの生徒が荷物を運ぶ際、混乱していた。）
- ・入り口とホール間の通路に人がいた方がよい
- ・梱包材預かり票の部屋色に基いて、出品票を作成しておけば、会場で(預かり票を)貼り付ける手間が省ける
- ・デザイン展示では、大幅に遅れてくる学校もあるので、学校毎の幅が掲示されていた方がよかった。
- ・脚立を勝手に使われていた
- ・立体展示をするために壁面展示を待っている間に、展示台を他校生徒に文字を書く台にされていた。
- ・立体展示をするために壁面展示を待っていたが、壁面展示が終わった学校が、すぐに場所を譲らず、記念撮影やミーティングをやっていて、他校が待っていることに気が付いていない。
- ・人数分揃えて入り口にまとめ置いていた金具が、勝手に他校に使われていた？自校の容器の準備不足、数え間違いもあった。
- ・Kブロックの梱包材置き場に他ブロックがたくさんやってきた。生徒が自校の梱包材置き場を把握していない学校が多かったのではないだろうか？  
又、Kブロックは特別扱いではなく、梱包が多いため、脚立のところに置いているという事をご理解いただきたい。
- ・会場でのこぎりを使っていたり、石膏の作品？が粉々に床に散らばっていて、急ぎ床を掃除しているのを見かけた。

**【その他】**

- ・出品料を上げてても良いのではないか（物価が上がっている）、参加人数は減るということはあるかもしれないが…。
- ・展示マップを作成する際に、分野で色分け(カラー印刷)をするので、高校展部の割付図の集合作品の□マークに工芸とか分野がわかるように書いておく。
- ・高校展部を中心とした規定違反への取組みはたいへん成果があった。搬入搬出を無事に終わることができたのも、先生方の尽力や美術館展示初挑戦の生徒たちの奮闘によるもので、ほんとうに良かったと思う。ただし、搬入搬出については、放送が使えなかったこともあり、色々な困りごとが起きていた。次年度はこの経験を活かして、搬入搬出について、教員説明会でもみんなで情報共有していけたら良いと思いました。

令和8年3月6日  
大阪府高等学校美術・工芸教育研究会  
年度末総会資料  
Aブロック長 森 香織（桜塚高校）

## 2025年度 Aブロック活動報告

### ○第1回ブロック会議 4月11日 於：桜塚高校

- ・分掌配置および活動計画確認
- ・生徒・教員実技研修について
- ・昨年度ブロック展の振り返り
- ・昨年度決算報告
- ・その他情報交換

### ○第2回ブロック会議 6月6日(金) 於：桜塚高校 14:00～

- ・生徒・教員実技研修について
- ・高校展出品申し込み
- ・研究会費の納入
- ・その他情報交換
- ・高校展生徒説明会

### ○第3回ブロック会議 7月4日(金) 場所：住吉高校

- ・第76回高校展 出品校教員説明会
- ・出品料の納入
- ・教員役割分担の打ち合わせ、諸連絡  
文書による確認

### ○生徒・教員実技研修会 10月26日(日) 於 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

- ・分野に分かれ、大学教員によるワークショップ
- ・8校教員9名、生徒52名参加

### ○第4回ブロック会議 10月26日(日) 於 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

- ・ブロック展について
- ・その他情報交換

### ○第48回 Aブロック展 於 千里文化センターコラボ

会期：2026年1月23日(金)～25日(日) 最終日は15:00まで  
搬入： 1月23日(金) 15:00～  
搬出： 1月25日(日) 15:00～  
生徒によるワークショップ：1月24日(土) 13:30～15:30

### ○第5回ブロック会議 1月25日(日) 於 千里文化センターコラボ

- ・次年度の分掌配置希望
- ・総会に向けて
- ・その他情報交換

# 2025年度(R7) Bブロック活動報告

2026.3.6(金)年度末総会  
大阪府高等学校美術・工芸教育研究会  
Bブロック長 西村 美穂(春日丘)

## 1. 研究会所属・役割分担

■ブロック長 春日丘 西村 美穂  
□副ブロック長 茨木工科 松田 麻衣子 柴島 時安 希未子 ※敬称略

分掌等	学校名	担当者名	分掌等	学校名	担当者名
会計部(1)	山田	滝 明香	高校展部(8人)	茨木西	酒井 遙
芸文祭部(6人)	阿武野	中原 崇		春日丘	西村 美穂
	柴島	岸野 照葉		柴島	山口 真弓
	柴島	時安 希未子		福井	北川 亜紀
	摂津	池田 和仁		北摂つばさ	岡本 直子
	槻の木	今中 紗織		北摂つばさ	近藤 朋美
	淀川清流	金 里紗		三島	鴨井 陽香
研究部(2人)	茨木工科	松田麻衣子		淀川清流	関 友道
	大冠	渡邊敏朗	理事(1)	吹田東	丸山 勉
研修部(4)	芥川	石田 加奈子	他教科顧問の 学校	茨木(社会)	乾 達也
	柴島	新堀 光枝		北千里(英語)	中村 美穂
	吹田	飯塚 牧子		千里(実教)	柴田 悠帆
	淀川清流	小本 佳美		高槻北(養護)	西尾 文

Bブロック(オンライン)展 只今開催中!  
PCからアクセスすると、ギャラリースタイルで観覧できます。  
<https://dependable-azalea-rj7lqw.mystrikingly.com/>

## 2. 活動報告

	名称	場所	日時	活動内容・課題等
1	第1回 ブロック会議	春日丘高校	R7年 4月25日	役割分担 年間計画等
2	春期合同 スケッチ会	万博公園	R7年 4月26日	スケッチ・合評・交流
3	高校展 生徒説明会	オンデマンド	R7年 5月30日 までに行う	高校展オンデマンド 生徒説明会
4	第2回 ブロック会議	春日丘高校	R7年 5月30日	高校展申込等
5	第3回 ブロック会議	春日丘高校	R7年 10月10日	高校展反省 実技講習会について ブロック展について
6	秋期生徒 実技研修会	国立国際 美術館	R7年 11月9日	鑑賞& ワークショップ
7	第48回 Bブロック展	オンライン	R8年 2月1日~ 3月31日	各学校の美術部& 授業作品を Strikinglyで公開する
8	第4回 ブロック会議	春日丘高校	R8年 2月6日	ブロック展反省・総括 次年度役割



## 令和7年度 Cブロック 活動報告

	曜日	場所	内容
4月11日	金	● 第1回ブロック会議 今宮高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間ブロック活動計画の確認</li> <li>・研究会 部所属確認</li> <li>・高校展について</li> <li>・生徒間交流会について</li> <li>・ブロック展について</li> <li>・部所属より連絡、その他 情報交換</li> </ul>
6月6日	金	● 第2回ブロック会議 ○ 高校展出品校生徒説明会 (集合またはオンライン) 今宮高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校展出品申し込み提出、役割分担調査</li> <li>・出品校生徒説明会(オンライン)</li> <li>・生徒間研修活動および交流会について</li> <li>・ブロック展要項検討</li> <li>・その他情報交換</li> </ul>
7月4日	金	○第76回高校展出品校 教員説明会 住吉高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初参加校の顧問教員への説明会</li> <li>・出品料納入、変更手続き、目録確認、諸連絡</li> </ul>
7月23日 ~27日	水~日	○第76回高校展	<p>大阪市立美術館</p> <p>搬入: 7月22日(火)12:00~16:00 搬出: 7月28日(月)9:00~12:00</p>
9月19日	金	● 第3回ブロック会議 今宮高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校展 総括</li> <li>・10月の生徒間研修活動および交流会について</li> <li>・ブロック展要項検討 役割分担確認</li> <li>・その他、情報交換など</li> </ul>
10月26日	日	◆ 生徒間研修活動 および交流会 天王寺動物園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Cブロックスケッチ大会、合評、交流</li> </ul> <p>→ 天候不良のため中止 次年度も同じ内容で実施予定</p>
11月21日	金	● 第4回ブロック会議 今宮高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Cブロック展要項最終確認、会場当番の確認</li> <li>・DM発送作業及び、ポスター配布</li> <li>・来年度に向けて、その他情報交換など</li> </ul>
12月20日 ~21日	土日	◆第4回Cブロック展 あべのベルタ 阿倍野市民学習センター ギャラリー	<p>参加校 13校 出品作品数 102点</p> <p>搬入: 12月19日(金) 搬出: 12月21日(日)</p>
12月21日	日	● 第5回ブロック会議 あべのベルタ 阿倍野市民学習センター ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック展総括</li> <li>・年度末総括</li> <li>・次年度、各係・ブロック長確認 他</li> </ul>

# 令和7年度 Dブロック活動報告

R8.2.13 役員会資料  
 R8.3.6 年度末総会資料  
 Dブロック部長 大谷尚子  
 Dブロック副部長 飛峪由紀

名称	日時	予定場所	内容	備考
高校展 生徒説明会	2025/6/11 (水)	オンライン	① 出品規定の概略説明 ② 著作権について ③ 台風接近等について 他	出品校の代表生徒対象
第1回 ブロック会議	5月30日(金) 15:00～17:00	芦間高等学校 プロダクト室 & オンライン	① 役割分担の本決定 ② 総会より ③ 各研究会より ④ 年間活動計画 ⑤ 高校展関係 ⑥ 生徒実技講習会 ⑦ 情報交換、諸連絡 他	対面5 オンライン3
				高校展申し込み用紙 提出メ切
6月20日(金) 高校展の出品目録を目録担当者にメールで提出				
高校展出品校 教員会議	7月4日(金) 14:30～17:00	芦間高校 (集合型)	① 教員役割分担の打合せ ② 出品料の納入 他	出品校の顧問教員対象
第76回 高校展	【搬入】 7月22日(火) 12:00～16:00	大阪市立美術館	展覧会期間	会場当番あり
	7月23日(水)～ 7月27日(日) 9:30～17:00 *最終日は15:00まで			
	【搬出】 7月28日(月) 9:00～12:00			
生徒実技講習会	10月18日(土)	天王寺動物園	中止	
第2回 ブロック会議	11月7日(金) 15:45～17:00	芦間高等学校 美術教室& オンライン	① 各研究会より ② 北河内展関係 ③ 生徒実技講習会の振返 ④ 情報交換、諸連絡 他	対面4 オンライン5
第43回 北河内展	【搬入・審査】 2月10日(火) 11:00～17:00	枚方市総合文化 芸術センター ひらしん美術 ギャラリー	展覧会期間	参加校15校  会場当番あり
	R8年2月11日(水)～ 2月16日(月) 10:00～18:00 *最終日は～16:00			
	【搬出】 2月16日(月) 16:00～17:00			
第3回 ブロック会議	2月16日(月) 17:00～18:00	枚方市総合文化 芸術センター ひらしん美術 ギャラリー	① 北河内展振返 ② 会計管理 ③ 次年度役職について ④ 情報交換、諸連絡 他	対面10
第46回(令和7年度) 大阪府高等学校 芸術文化祭美術・工芸部門 コンクール展	【1次搬入】港南造形 1月9日(金)			
	【1次搬出】港南造形 1月11日(日)			
	【2次搬入】天王寺美 1月13日(火)			
	R8年1月14日(水)～ 1月18日(日)			
	【2次搬出】天王寺美 1月18日(日)			

## 令和7年度 Eブロック活動報告

Eブロック長 大阪府立みどり清朋高等学校 梅木 沙羅  
副ブロック長 大阪府立布施北高等学校 渋谷 佳菜子

### ●第1回 Eブロック会議

日時 : 令和7年5月30日(金) 15:00~17:00  
場所 : 大阪府立みどり清朋高等学校  
案件 : ・高校展出品申込 ・各係・役割分担確認 ・美術研修会について 他

### ●第76回 高校展 出品校 生徒説明会

日時 : 令和7年6月6日(金)~6月13日(金)  
場所 : オンデマンド開催(ビデオ視聴)  
案件 : 高校展出品上の注意・搬入出について 他

### ●第76回 高校展 出品校 教員会議

日時 : 令和7年7月4日(金)  
場所 : 大阪府立住吉高等学校  
案件 : 出品料納入、変更手続き、教員打合せ、役割分担 他

### ●第76回 高校展

日時 : 令和7年7月23日(水)~7月27日(日)  
搬入 : 7月22日(火)PM 搬出: 7月28日(月)AM  
会場 : 大阪市立美術館 天王寺ギャラリー

### ●第2回 Eブロック会議

日時 : 令和7年9月19日(金) 15:00~17:00  
場所 : 大阪府立都島工業高等学校  
案件 : ・Eブロック展について・Eブロック役割分担 ・美術研修会について 他

### ●第3回 Eブロック会議

日時 : 令和7年12月12日(金)  
場所 : 文面開催  
案件 : ・第4回 Eブロック展役割分担確認 ・美術研修会 他

### ●Eブロック美術部合同研修

日時 : 令和7年12月20日(土)  
場所 : 大阪中之島美術館 シュルレアリスム展鑑賞会  
参加校5校 生徒28名参加

### ●第4回 Eブロック展

日時 : 令和8年1月29日(木)~2月1日(日)  
搬入 : 1月29日(木)AM 搬出: 2月1日(日)16:00~ 11校参加  
会場 : 東大阪市役所本庁舎 22F 市民ギャラリー

### ●第4回 Eブロック会議

日時 : 令和8年1月29日(木)  
場所 : 東大阪市役所本庁舎 22F 市民ギャラリー  
案件 : ・第4回 Eブロック展振り返り・次年度の各係・ブロック長確認 他

## 2025年度 Fブロック 活動報告

月/日	曜日	会議	内容
4/11	金	第1回ブロック会議	活動計画確認 高校展役割分担 ブロック展計画 実技交流会について 等
6/6	金	第2回ブロック会議	高校展申し込み、要綱確認等
7/4	金	高校展出品校説明会	教員会議 会場配置、割り付けチェック
7/22	火	高校展搬入	
7/23   7/27	水   日	高校展	大阪市立美術館 天王寺ギャラリー
7/27	日		表彰式
7/28	月	高校展搬出	
8/23	土	実技交流会	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ専門学校 金工プレスレット制作体験
9/12	金	第3回ブロック会議	ブロック展について 実技交流会について 等
11/14	金		ブロック展申し込み締め切り
12/12	金	第4回ブロック会議	出品料納入・目録原稿締め切り等ブロック展関係
1/16	金	第5回ブロック会議	ポスター、案内はがき、役割確認等ブロック展直前打ち合わせ
1/28	水	ブロック展搬入	審査・打ち合わせ
1/29   2/1	日   日	Fブロック展	大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 を会場として実施
2/1	日	ブロック展搬出	表書式・交流会
2/1	日	第6回ブロック会議	ブロック展反省 次年度役員・分掌案 (ブロック展搬出後、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校で実施 を予定)

## Gブロック 令和7年度 活動報告

日程・場所	活動内容
令和7年4月25日（金） 堺市立堺高校にて	●第1回ブロック会議 ・今年度の活動計画 ・年度の主な展覧会日程 ・研究会所属部確認 ・その他、情報交換等
令和7年5月29日（木）	○第76回高校展 生徒説明会 ブロックごとにオンラインで開催
令和7年6月6日（金） 堺市立堺高校にて	●第2ブロック会議 ○第76回高校展について（申込、役割分担） ・Gブロック展について ・生徒交流会について ・その他、情報交換等
令和7年7月4日（金） 場所未定  7月23日（水）～27日（日） 大阪市立美術館にて	○第76回高校展 出品校 教員会議 ・出品校は必ず出席。出品料納入、変更手続き、教員打合せ、役割分担 ○第76回高校展 22日（火）搬入、23日（水）審査、 27日（日）表彰式・作品梱包、28日（月）搬出
令和7年 10月17日（金） 堺市立堺高校にて	●第3回ブロック会議 ・Gブロック展について ・生徒交流会について ・その他、情報交換等
令和7年11月3日（月）	◆Gブロック生徒交流会
令和7年11月21日（金） 堺市立堺高校にて	●第4回ブロック会議 ・Gブロック展について （参加申込状況・出品要項確認、役割分担） ・その他、情報交換等
令和8年1月24日（土）～ 1月25日（日） サンスクエア堺（堺市立勤労 者総合福祉センター）	◆第39回 Gブロック展 ・23日（金）搬入作業 ・25日（日）表彰式、搬出作業
令和8年1月25日（日） サンスクエア堺（堺市立勤労 者総合福祉センター）	●第5回ブロック会議 ・Gブロック展総括、年度末総括 ・新年度役割分担

R8年2月13日 役員会

R8年3月6日 年度末総会

Hブロック長 泉大津高校 石井

## 令和7年度 Hブロック活動報告

月 日	活 動 内 容
6月6日(金) 泉大津高校	<b>第1回 ブロック会議</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・第76回 高校展について(申し込み・諸連絡)</li><li>・Hブロック展について</li><li>・その他、各校情報交換について</li></ul>
10月17日(金) 泉大津高校	<b>第2回 ブロック会議</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・第43回 Hブロック展について 申し込みについて 実施要項 役割分担</li><li>・その他、各校情報交換等</li></ul>
1月31日(土) ～ 2月6日(金)	<b>第43回 Hブロック高等学校美術・工芸展覧会</b> <b>会場：熊取交流センター煉瓦館</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・美術部の作品だけでなく授業作品も併せて展示</li><li>・搬出前に表彰式を実施</li></ul>
2月7日(土) ブロック展 搬出後	<b>第3回 ブロック会議</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ブロック展反省</li><li>・年度末総括</li><li>・次年度役割分担</li></ul>

令和7年度 Kブロック 活動報告

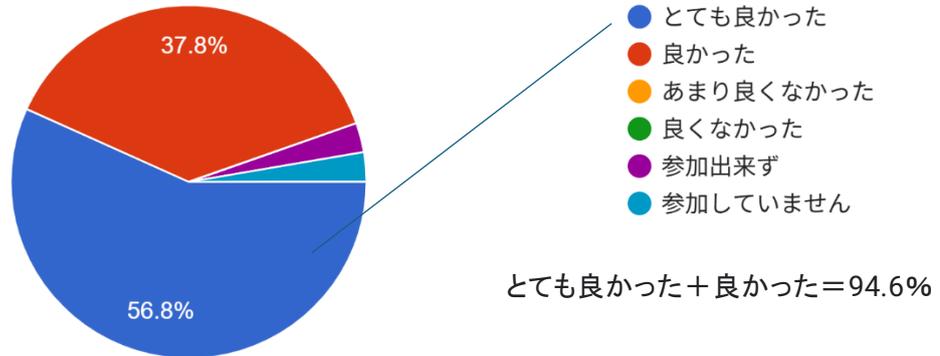
日	回・名称等	内容・場所等
4/1(火)	第1回 ブロック会議	美工研 部所属確認
4/3(木)	第2回 ブロック会議	美工研 部所属確認
4/7(月)	第3回 ブロック会議	年度当初の予定 高校展出品要綱(案)
4/16(水)	第4回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告、高校展出品申込について 等
4/30(水)	第5回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
5/14(水)	第6回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
5/28(水)	第7回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
6/11(水)	第8回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
6/14(土)	「全国美術系大学・短大合同説明会」	大阪府下の高校生・教員参加
6/25(水)	第9回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
7/1(火)	第10回 ブロック会議	高校展出品目録提出、高校展教員会議(役割分担等)各部、事務局からの連絡報告等
7/8(火)	第11回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
7/9(水)	「ようこそ先輩」	OBOGを招いて講演会
7/15(火)	第12回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
7/23(水)～ 7/27(日)	第76回 高校展	大阪市立美術館 搬入:7/22(火) 搬出:7/28(月)
7/28(月)	第13回 ブロック会議	高校展作品搬出後反省会
8/27(水)	第14回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
9/10(水)	第15回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
9/19(金)～ 9/20(土)	文化祭	
9/25(木)	第16回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
10/1(水)	第17回 ブロック会議	芸文祭について
10/15(水)	第18回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
10/29(水)	第19回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
11/5(水)	第20回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
11/9(日)	「すみのえアートビート」	クリエイティブセンター大阪、パブリックアート同好会の生徒が参加
11/19(水)	第21回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
11/26(水)	臨時 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
12/10(水)	第22回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等、芸文祭について
12/17(水)	臨時 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
1/15(木)	第23回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
1/14(水)～ 1/18(日)	「第46回 芸文祭」	
1/22(木)	第24回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等
1/24(土)	住之江支援学校 文化祭交流	住之江支援学校文化祭 本校生徒授業作品展示
2/3(火)～ 2/8(日)	「港南展(卒業制作展)」	大阪市立美術館 (R7年度:約〇〇〇名来場)
3/10(火)	第25回 ブロック会議	各部、事務局からの連絡報告等

※造形科の教科会議が隔週の水曜日に設定されており、その中で美工研に関する会議(ブロック会議)を実施している。

# 令和7年度 第8回近畿美術館博物館・美大研修のアンケート集計

大阪府立港南造形高等学校 内藤 さや

7月31日（木）1日目大阪市立美術館 ゴッホ展鑑賞についてお聞きします。  
37件の回答



7月31日（木）大阪芸術大学 中川先生によるゴッホ展の講演会についてお聞きします。  
37件の回答



7月31日（木）地下ギャラリーの大阪府高等学校 私学展についてお聞きします。  
37件の回答

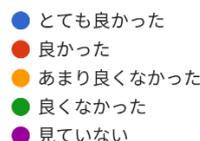
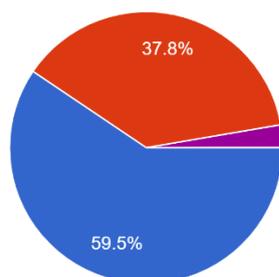


8月1日（金）大阪芸大アートサイエンス学科体験講座について  
37件の回答



## 8月1日（金）学校見学について

37件の回答



とても良かった＋良かった＝97.1%

### ■全体の感想

- ・既製品を使ったコマ撮りアニメの基本知識や撮影のコツ。
  - ・生成 AI について、興味をもっていたので体験しながら学べたのが良かった。
  - ・昨年度の染色のような地域の特性を踏まえた体験型のものや、北加賀屋？の時のような普段入れない場所に入っている体験ができるとありがたいです。
  - ・よくできた構成で堪能させていただきました。エアドロップと USB の画像回収については、OneDrive か Google ドライブを開けてもらってそこに放り込むようにできたら早かったかと思いますが、セキュリティ上出来ないことを言ったら失礼しました。
  - ・事前の中川先生の講義を思い出しながら鑑賞できました。大阪芸大の体験授業は、自分自身が学生時代メディアデザインを専攻していましたが、当時とは似ていてもまた違う世界があり、アートの世界の広がりを実感しました。自分もこれからよく勉強していきたいです。
  - ・お忙しい中、貴重な機会をありがとうございました。分かりやすく丁寧な進行と内容で充実した時間を過ごすことができました。いただいた資料や撮影させていただいた写真をもとに生徒に還元していきたいと思っています。たいへん、ありがとうございました。
  - ・たくさん説明と体験、ありがとうございます。昔ながらの学部の生徒さんの活動もお聞きしたかったです。
  - ・大阪芸大の皆様には大感謝です。
  - ・授業にすぐ活かそうかと考えると難しい、今後利用していきたいと感じるものだった。生徒の興味が湧きそう。
  - ・生成 AI など最先端の美術に関する講義に少しばかり触れることができ、これからの美術の新しい可能性、教育活動の新しい可能性について考えることができたことがとても良かったと思います。
  - ・アートサイエンス学科の体験は親しみやすく、とてもおもしろく体験できました。ありがとうございました。
  - ・企画、準備してくださった先生方、ありがとうございました。とても有意義でした。
  - ・とても丁寧で楽しく様々な勉強になりました。また開催されれば是非参加させて頂きたいです。
  - ・生成 AI の体験、とても面白かったです。特別支援学校の生徒は自分で発想、考えたものを絵が書く事が難しい生徒もいるため、そういった生徒たち向けに生成 AI での表現などを取り入れていけたらと思います。ありがとうございました。
  - ・AI で WEB アプリも作れるとは驚きました。本質の部分には AI を使わないこと、という言葉は、今後学校で AI を活用していく中でも忘れないようにしたいと思います。貴重な機会をありがとうございました。
  - ・ポスト印象派のゴッホと最先端のアートサイエンスという、一見正反対の内容だったけれど、ふたつの繋がりや共通、相違が感じられてとても勉強になりました。大阪芸術大学は学ぶ環境がものすごく整っており、それだけでなく講師の先生方の丁寧であたたかなご指導を受け、ここで学べる学生は幸せだなと思いました。本日はありがとうございました。
  - ・生成 AI をなかなか使う機会がないこともあり、とてもいい経験をさせてもらいました。プロンプト内容や言語、画像の新旧など様々な要因で生成画像への影響が大きいことも教えてもらいました。授業のテーマとしても使えそうです。ありがとうございました。
- 暑期中、研修ありがとうございました。授業で早速学んだ事を共有し授業に反映していきたいです。
- ・講義と実技、両方内容も充実しており勉強になりました。他の参加者の方の作成された写真を見れた事も良かったです。
  - ・昨年から参加させて頂いている。今年は拘束時間が短く、参加しやすい内容だった。来年も時間があれば参加したい。

### ■まとめ

全体的に好評となった。講義については工夫が必要と感じた。企画展・私学展の鑑賞を自由な形にし、少し余裕が出たように感じる。次回、兵庫県の近畿研修へとつなげていきたい。

全国高等学校美術工芸教育研究会第71回近畿地区府県代表者会議報告

事務局

- 1 日 時 令和8年2月3日(火) 13:30~17:00 (13:10~受付)
- 2 会 場 兵庫県立美術館  
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 (HAT 神戸内) TEL: 078-262-1011
- 3 内 容
  - 1) 鑑賞・ワークショップ
    - ・遊免 寛子氏(兵庫県立美術館 教育支援・事業担当 主査学芸員)による解説 コレクション展Ⅱ「兵庫のベスト・オブ・ベスト」について
    - ・ワークショップ対話型鑑賞「五感で観る絵画」  
作品を鑑賞し、
  - 2) 代表者会(2026 兵庫→2027 奈良→2028 滋賀・・・2032 大阪)
    - ・各府県の現状及び課題について報告  
(兵庫県) 教諭は40名程度。教諭減している。  
(奈良県) 美術の校長となった。教諭17名。非常勤増。発表場所が不足。いつも展示していた場所が音楽ホールになった。採用1名。  
(滋賀県) 私学人気が高まっている。退4名に対して採用2名。  
(三重県) 本日入試。教諭53名。採用2名。  
(和歌山県) 教員28名。紀南全体では2名。1人2校勤務も。今年度前半は会議等も出来ず。  
(京都府) 専任教諭減。市立高校は1名。  
2校もしくは2学舎掛け持ちも多い。授業研究・校務に落ち着いて取り組めない。
    - ・第10回近畿美術館博物館・美大研修について  
令和8年8月6日(木)7日(金)神戸芸術工科大学・美術館で実施計画中。

全国高等学校美術工芸教育研究会本部より

全国大会について2026大阪、2028山形決定。2027が未定である。

開催県に30万ほどの補助がある。希望する県は3月末迄募集。

四科合同研修は「音楽の先生だけが常勤、美術・書道は非常勤。」というような学校の状況がある現状で、芸術四科が協力し、他芸術教科のフォローアップと人材育成のために実施している。

今回は「選択授業で希望選択者と希望していない選択者がいる中、初めの授業ではどのように導入を進めているのか？」という観点から各科導入について発表し、話し合った。

① 音楽 港高校(加藤先生)

■音楽の研究会教員にアンケートを実施、初回授業の取り組みかたについて。

- ・授業での説明時間は? 10分程度が多い(2時間連続、1時間共に)
- ・すぐ授業内容に入るか? 43% (その他自己紹介やアイスブレイク、個人把握)
- ・声のチェックをはじめにする学校もある。ボディーパーカッションなど・・・。
- ・「好きな曲歌っていいよ。中学校校歌」という学校も・・・。

その後授業内容に入る。1回目はどんな内容? →「歌唱」が多かった。

■加藤先生の場合、初回はアイスブレイクを通じて音楽の基礎知識や会話、交流が出来るような雰囲気づくりをすることになっている。

例) 縦1列で回答がそろるか? 音楽関連クイズをする。2時間連続の1時間以上使って実施、10問程度出題。回答を生徒は個別にフリップを教員に見せる、正解をプロジェクトで発表。縦の相談は出来ないが、横の相談をOKにすることで生徒交流が出来ることと、好きな音楽や知っている知識を広げ、コミュニケーションの取れた雰囲気づくりができるので実施している。上手く空気感をつくるためには実施中の曲選択も重要。

② 美術・工芸 港南造形高校(池田先生)

■デザイン授業指導における導入について

- ・ヒラメキをデザインするには? という問いかけをして生徒にアイデアを問う。  
こんかいの導入として、ヒラメキをお題にすると案の定、9割以上が電球を書きます。そこで、絵がうまくなくても良いので、全員がテーマに対して同じものを提示することの安易性やアイデアの引き出し方を考える必要があること、ステレオタイプ(固定観念)の自覚をさせます。このトレーニング課題は、毎回の授業の中で展開し、

5分間で描く→全員が見回る→アイデアの面白いものを見つける

→推しのところに集まる→推された人はプレゼンする(言語化)

→教員側からの言語化のサポートと合わせて1番面白い人にNO.1の旗を授業中飾れる

ということを1セットとして展開。ゲーミフィケーション(遊びの要素)が、生徒の自己肯定感を高め、半年ほど経つと堂々と自分の考えたことを発表できるようになっています。

直感で『面白い』と思ったものを、なぜ面白いのか言葉にさせる、感覚を論理(ロジック)に変換することで対話型鑑賞に近いものを短時間でおこなっているのです。課題を進めるうちに、人を使わせない、キャッチコピーを入れるなど少しずつ応用させていく課題になっている。

③ 書道 柴島高校(青木先生)

- ・書道のイメージを生徒に聞く、「墨で書く、和を感じる」など。書の魅力について共通理解をする。次に書道の経験を聞くなど。進めていくことで書道について生徒同士も会話を広げていく。3つの「花」を描いた作品を見せる。教科書、井上有一、上條信山。それぞれの書の良さを感じ取りこれからの制作活動に生かす。

それぞれの教科導入を知ることで、より共通理解をすることが出来た。

## 大阪府高等学校における芸術教育に係る要望について

平成三十年三月に公示された高等学校学習指導要領では、「生きる力」を育成することをめざし、「基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得」「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成」「主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育」を掲げ、能力・適性・興味・関心等が多様化する生徒に対して、より深く幅広い教育の推進を求めています。これを踏まえ、芸術教育も「生きる力」の根源に関わる教育であり、私たち芸術科教員は、多様な表現や鑑賞の活動等を通じ、豊かな心を育成することを責務と自覚しております。芸術教育は、生徒の表現力、創造力、協働力の育成、自己肯定感や協調性、主観的な幸福感など、ウェルビーイングの向上に資する教育として、その重要性がますます高まっています。

令和元年十月、これまで文部科学省が所管していた「学校における芸術に関する教育の基準の設定に関する事務」が文化庁に移管され、新学習指導要領の趣旨やねらいの実現に向けた学校における芸術教育や文化芸術活動の一層の充実が図られました。この芸術教育の充実は今現在、大阪府が推進する府立高校改革の「さらなる魅力化・特色化」を実現するために、各校で柔軟かつ独自性を持った取組みが可能な「総合的な探究の時間」において、芸術科がその活動をリードする中心的な役割を担えるものと考えます。生徒自身が考え、それぞれに答えを創り出していく学びは芸術科がこれまで重ねてきた実践そのものです。「答えのない問い」に取り組む探究活動に芸術科は欠かせません。

令和六年十二月二十五日に公表された「文化芸術教育の充実、改善に向けた検討会議 審議まとめ」においても、「子供たちの学びの転換をリードする文化芸術教育」の中で、「芸術系教科は、問いやテーマ、答えを自分でつくりだしていく学習であり、これから先の不確実な、見通しがなかなかもちにくい社会の中でこそ一層重要となる」「個別性の重視による多様性の包容、多様な価値を認める柔軟な発想や他者との協働、身体を通して知性と感性を融合させながら対象や事象を捉えていくことなど、芸術系教科における学びの意義はより一層高まっている」など、芸術教育における学びの重要性が明示されています。

教育基本法、関係法令及び学習指導要領に基づき、その精神や理念を具現化するために、私たちは伝統と文化を幅広い視点から捉え、芸術四科目（音楽・美術・工芸・書道）をはじめとする芸術教育のさらなる充実を図ることによって、生徒の伝統と文化を尊重する態度を育むとともに、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養い、諸問題を創造的に解決する能力の育成に取り組むべきものと考えます。

こうした中、夏の教育課程協議会においては開設科目ごとに一名以上の参加が求められていますが、「芸術」の科目で専任教員が配置されていない学校では、教頭や教務主任、他の芸術教員等が参加している学校も多くありました。こうした実状では協議会の内容、とりわけ専門性の高い内容の正確な伝達、評価活動の適切な実施が危ぶまれる状況です。国が掲げている教育活動の実施にあたり、各校において芸術四科の専任教員が一人のみ、または一人もいないとなれば、学校教育の根幹である評価活動自体が危ぶまれ、生徒・保護者への説明責任も十分に果たせなくなる状況であると考えます。

また、府立高校では生徒一人ひとりに端末が配備され、授業や行事等で幅広くICTが活用されています。芸術科においても研鑽を重ねていますが、芸術各科目の専門性に基づき実践できる教諭の配置があつてこそ、その機能を十分に活用し学習効果が高められます。

加えて、令和六年二月十三日付け文部科学省初等中等教育局長通知「高等学校等における多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学びの実現について」により新たに対応を求められた、全日制・定時制課程高校における通信教育の実現にあたっては、各学校の方針や取組みを十分に理解した上で、様々な事情を抱える不登校生徒等への柔軟な対応を求めますが、これらを非常勤講師等に求めることは極めて困難です。

以上のことにかんがみ、芸術教育のさらなる充実を図るため、次のことについて格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

一 学習指導要領に示された芸術各科目の目標達成のため、また多様な生徒の個に応じた指導が系統的かつ継続的に行えるよう少人数教育等の制度的、人的、物的な環境条件の整備をしていただきたい。

二 一の実現のため、特に芸術各科目の専任教諭を各校に配置する必要性にかんがみ、芸術四科目（音楽・美術・工芸・書道）の全ての科目に対して教員採用選考テストを毎年実施していただきたい。

令和七年十二月十日

大阪府高等学校芸術科研究会 会長 寶田 康彦  
(大阪府立枚方高等学校長)

大阪府高等学校音楽教育研究会 会長 谷 廣進 一  
(大阪府立芦間高等学校長)

大阪府高等学校美術・工芸教育研究会 会長 今 西 良 介  
(大阪府立桜塚高等学定時課程准校長)

大阪府高等学校書道教育研究会 会長 寶田 康彦  
(大阪府立枚方高等学校長)

大阪府教育委員会教育長 様

# 第75回 造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会大阪大会 ご報告

開催日：2025（令和7）年11月13日（木）14日（金）

会場：13日（木）大阪市・堺市各会場  
14日（金）ドーンセンター

主催：おおさか美術振興協議会／日本教育美術連盟

報告者：大阪大会事務局長 梅山 仁美（大阪市立榎並小学校 校長）

「2025大阪・関西万博」が開催されたこの特別な年に、大阪大会を開催しました。大会テーマ「ええ感じ！笑顔輝くおおさかの美術教育～自分らしく学び続けるわたしたち～」を掲げ、大阪市・大阪府・堺市の保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・支援学校がこれまでにない大きな一つの輪でつながる大会となりました。

## 1日目 公開保育・授業・実践研究発表

大阪市・堺市の保育園・幼稚園・小学校・中学校・国立国際美術館・堺 アルフォンス・ミュシャ館において、各校園種別テーマと研究内容に沿って、公開保育・授業・実践研究発表を行いました。

### 保育所・幼稚園

わくわく！みてみて！～かくのん つくるのん 好きやねん～

- A 心が動くような環境の工夫
- B 一人一人が自分なりの表現を楽しめるような援助の工夫
- C 一緒に遊ぶ楽しさを味わえるような関わり

### 小学校

個性輝き 心が動き そしてつながる 図画工作

- A やってみたいを引き出す 出会いの工夫
- B 個性を大切にしたい支援のあり方
- C もっとやりたいをかなえ 互いにつながる環境づくり

### 中学校

それええやん！ひらめき、未来につなげよう

- A 造形表現意欲を高める 指導の工夫
- B 自己肯定感を高める指導計画の立案
- C 互いの表現のよさや個性を認め尊重し合う場の設定

### 高等学校

探そうや！心の中の物語

～作品鑑賞でつながる、発見する私たち～

- A 心の中の自分を見つける鑑賞と制作指導の工夫
- B 主体的な感じ方を大切にしたい鑑賞
- C 表現と鑑賞を関連させた学習活動

### 支援学校

やりたい！ふれたい！楽しみたい！

- A 主体的に取り組めるための環境づくりの工夫
- B 子どもたちの興味・関心を引き出す支援や関わり方
- C 子どもたちの実態に合わせた題材・教材・素材の工夫

高校展示協力：咲くやこの花中高、住吉高、工芸高、港南造形高校

## 2日目 全体会

### 【基調提案】

大阪市、堺市、大阪府の All オール大阪で、保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・支援学校がつながった本大会の特徴を生かし、各校園種から発表者が登壇し、座談会形式で行いました。

### 【教科調査官による講評】

文部科学省教科調査官 小林恭代様・平田朝一様より、本大会のご講評をいただきました。「子どもをよく見る」「教師も授業（保育）を創造する一員である」など、実際の保育や授業の写真を提示して、参会者に分かりやすくご講評いただきました。

### 【記念講演】

絵本作家の長谷川義史様をお迎えし、「絵本で子どもたちにつたえたいこと」の演題でご講演いただきました。長谷川様の温かい雰囲気のお話に参加者は引き込まれました。お話の中で、絵本の中に込められた、子どもたちへのメッセージと、命の重みについては心揺さぶられ、教育者として、今一度自分を見つめなおす機会となりました。笑い涙にあふれる貴重なご講演をいただきました。

### 作品展示

保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・支援学校の作品が一堂に介しました。作品を通して各校園種ごとの成長段階の表現の変容を感じ取る事ができました。

### 大会を終えて

★つながりあえた大阪大会★

子どもに関わる様々な立場の大人が、美術教育を通してつながり、「ええ感じ！なおおさかの美術教育」を発信できましたことをうれしく思います。大阪大会が、今後の美術教育のさらなる発展と充実につながれば幸いです。

R8年全国大会 業務スケジュール

月				2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月				11月	12月	1月	2月	3月		
会議日				2月	3月6日 年度末総会	2026/4/3	5月22日 年度当初総会	2026/6/5	7月3日 近畿代表者会議 (zoom)	7月10日 出品校会議	7月28日～8月2日 近畿編外作品展示	8月6日・7日 近畿研修	2026/9/4	10月2日 事前最終会議 物品搬入計画	10月21日 14時～	10月22日 9時～	10月22日 14時～	10月23日 9時～		2026/12/4	2026/2/7	3月5日 年度末総会
場 所	組 織	部	以前の担当分けより	港南造形高	京都芸術大学梅田			港南造形高	港南造形高	兵庫県	大阪成蹊大	大阪成蹊大	大阪成蹊大	大阪成蹊大	大阪成蹊大	大阪成蹊大				港南造形高		
実行委員長				★ 今西(総務)																		
大阪大会 事務局 事務内容 予算開選	大阪大会事務局 (事務+総務)	事務局より 3名程度+α	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大会定章作成</li> <li>■各種出席依頼書確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■予算書の作成</li> <li>過去の大会等参考としながら各部高で作業(予算)を作成、予算書作成</li> <li>※大会年度の6月頃予算案を本部提出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■府内教員向け執筆案内を配布(5/31)</li> <li>■全国大会チラシ、功労者推薦書発送(代名政府)</li> <li>■参加講師等正式依頼文発送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■情報交換会、茶会場所、記念品検討</li> <li>■資料送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大会までの計画について</li> <li>■補助労働者表彰参加者を確定(6/19)</li> <li>■全国協賛第1次募集開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大会参加締切①(6/19)</li> <li>■申込数について</li> <li>■準備搬去の人員計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大会参加告知(最終)</li> <li>■大会参加締切②(9/18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■②申込数について報告(予算・計画)</li> <li>■参加者へ最終案内</li> <li>■参加資料準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協賛団体へ冊子・納品書・お礼状送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■監査</li> <li>■引継資料作成</li> </ul>										
	財務(会計)	会計部より 3名程度+α	<ul style="list-style-type: none"> <li>■会計案作成</li> <li>■各担当に会計案検討依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全国協賛団体へメール送付</li> <li>①過去(前回大会)協賛団体</li> <li>②過去協賛団体</li> <li>③新規依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全国協賛第1次募集開始</li> <li>■予算計画案約案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■タイムスケジュール、購入順序等</li> <li>①協賛申込を確認後、報告</li> <li>②協賛申込の御礼</li> <li>③入金確認後、領収書送付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■締切①必要数を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■必要品確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各会場にて準備・人員配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各会場にて準備・人員配置</li> </ul>												
展示計画	研修部と事務局 高校展部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■池田(総務)</li> <li>■吉原(守口線)</li> <li>■百合野(桜和)</li> <li>■麻谷(西成)</li> <li>■松田(池田)</li> <li>(ポスターセッション関連)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品貸出依頼</li> <li>■搬入搬出計画案</li> <li>■会場利用計画案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品貸出依頼</li> <li>■搬入搬出計画案</li> <li>■会場利用計画案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■展示・搬入・搬出計画案(ブース場所と検討)</li> <li>■ポスターセッション展示準備計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■出品最期作品展示案内</li> <li>■贈答品作成(広報にデザイン依頼)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■贈答品制作</li> <li>■贈答品制作(ブース場所と検討)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■出品一覧、贈答品作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品搬去・搬出</li> <li>■作品品戻り</li> </ul>												
閉会・閉会	事務局+研究部 から3名程度+α	<ul style="list-style-type: none"> <li>■村田(工業)</li> <li>■池田(港南造形)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■会場使用イメージ作成(400名収容)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■会場使用イメージ作成</li> <li>↓</li> <li>■本部確認</li> <li>■案内指示</li> <li>■感謝状</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■会場使用箇所と各会議対応を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■閉会・閉会・役員会議確保決定(9/4)修正案(9/末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■受付準備</li> <li>代表者会議準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■準備</li> </ul>													
分科会	全体から3名程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■池田(港南造形)</li> <li>■吉原(西成)</li> <li>■松田(池田)</li> <li>■池田(港南造形)</li> <li>■吉原(西成)</li> <li>■松田(池田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各分科会タイムスケジュール作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協賛品納入期要開始</li> <li>①申込確認(5/1)</li> <li>②画像確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■配属図案作成</li> <li>■使用物品確認(プロジェクタなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■発表順序想定計画</li> <li>■発表順序想定計画2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ブース計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■配属図案、明日の準備、タイムスケジュール提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■講師御礼支払</li> <li>■協賛団体礼状送付</li> <li>■領収書の精算</li> </ul>													
協賛・広告	広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■池田(港南造形)</li> <li>■吉原(西成)</li> <li>■松田(池田)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■必要デザイン検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全国協賛第1次募集開始</li> <li>①申込確認(5/1)</li> <li>②画像確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協賛品納入期要開始</li> <li>①申込確認(5/1)</li> <li>②画像確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■発表順序想定計画</li> <li>■発表順序想定計画2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ブース計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■配属図案、明日の準備、タイムスケジュール提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■講師御礼支払</li> <li>■協賛団体礼状送付</li> <li>■領収書の精算</li> </ul>													
原稿・冊子	研究(記録・編集)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■池田(池田)</li> <li>■増本(港南造形)</li> <li>■貴志(港南造形)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■原稿、打合せ</li> <li>■全体構想予定案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広報と連携し、表紙やマップデザイン等検討(広報と連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本部役員使用ページ採録(6月末)</li> <li>■協賛ページ確定(7/末)</li> <li>■本部使用ページ確定(7/末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大会冊子最終確認→印刷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大会冊子最終確認→印刷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大会冊子最終確認→印刷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大会冊子最終確認→印刷</li> </ul>													

第63回全国高等学校美術、工芸教育研究大会 2026大阪大会 収支予算書(仮)

収入	2026 大阪大会 ↓1000円下げ		
大会参加費	2,000,000	2,000,000	5000円×400人(新潟大会は3000円×140人)
補助金	2,540,000	340,000	美工研本部
		2,200,000	R8大阪大会積立
協賛金(広告料含む)	1,600,000	1,600,000	(新潟大会1,605,000円)
ブース協賛	300,000	300,000	30,000円×10団体(新潟は5だったが3が妥当か)
合計	6,440,000	A	

支出			
謝礼金	160,000	100,000	講師謝礼 ヤノベケンジ教授 100,000円×1名
		60,000	分科会講師 20,000円×3名
宿泊・旅費・昼食費	120,000	20,000	旅費・宿泊関連
		50,000	記念講演講師旅費50,000円
		50,000	調査官旅費50,000円
印刷・製本費	1,460,000	640,000	大会冊子 800円×800部(新潟1000円×600冊=60万)
		20,000	案内チラシ
		50,000	大会記録関連
		40,000	名刺印刷 2,000円×20名
		30,000	ネームタグなど表示関連
		50,000	クリアファイル
		30,000	館内表示・案内板など
		600,000	バッグ1,000円×600個
通信・運搬費	300,000	120,000	封筒・紙パック等
		180,000	郵送費・運搬費
会場費	100,000	100,000	使用料金及び会場補助費
消耗品費	50,000	50,000	マーカー、ボールペン、記憶媒体など
派遣費	50,000	50,000	派遣費用
通信費	30,000	30,000	通信費
活動費	1,180,000	40,000	功労者記念品 5,000円×8名(予想)
		420,000	大阪関連物品700円×600個
		100,000	情報交換会補助
		500,000	関連参加補助(5,000円×100名)
		120,000	役員宿泊費(6,000円×20)
合計	3,450,000	B	

(単位：円)

A-B =	2,990,000		
-------	-----------	--	--

## 大会テーマ

## すべては「A」からはじめよう

美術・工芸教育のイノベーションを考える ～ 過去→現在→未来 ～



## ●大会概要

2026大阪大会は【すべては「A」からはじめよう 美術・工芸教育のイノベーションを考える ～過去→現在→未来～】をテーマに、過去・現在・未来を切り口にした3つの分科会で、私たちのこれまでを振り返り、今の教育活動を発展させ、これからどのように美術、工芸教育を展開させるのかを考えます。テーマに掲げた「A」はアルファベットの最初の1文字、スタート地点であると同時に、大阪弁で良い、GOODを表す「ええ」という意味も込めています。さらに「A」からはじめようは初心に立ち返ろうという意味と、あれこれ考える前に、まずは動いてみようという、これも大阪弁の「ええからはじめよう」の思いも込めたテーマです。

美術・工芸は多様なものの見方、多様な価値観を学ぶだけでなく、モノづくりの楽しさや、そのプロセスで味わう苦労や達成感、他者の作品を鑑賞して気付く自分にはなかった視点など、様々な学びがあります。さらに、ICT機器が当たり前になり、生成型AIも爆発的なスピードで進化を続けている今、改めて過去を振り返り、現在を見つめ、未来を展望する大会になればと考えています。

- 目的 全国高等学校美術、工芸教育の充実と振興を図る
- 主催 全国高等学校美術工芸教育研究会／大阪府高等学校美術・工芸教育研究会
- 後援 大阪府／大阪府教育委員会／大阪府高等学校芸術文化連盟／公益財団法人日本教育公務員弘済会大阪支部
- 参加者 各都道府県高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教職員 及び関係者
- 会期 令和8年10月22日(木) 23日(金) ※集合型のみでの開催
- 会場 大阪成蹊大学 駅前キャンパス  
〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3 丁目10-62 (最寄り駅 阪急電車 相川駅 徒歩2分)
- 参加費 6,000円(予定)

## ●大会日程(予定)

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
1日目			受付	都道府県 代表者会議 (60分)	開会式・総会 (70分)		開催引継ぎ会 (45分)		情報交換会 (120分)	
							協賛・ワークショップ(120分)			
2日目	9:30 受付	10:00 基調講演 (90分)	11:00 休憩 (60分)	12:00 分科会 (120分)	13:00	14:00	15:00 全体会 (30分)	16:00 閉会式 (30分)	17:00	18:00

## ●記念講演 京都芸術大学教授 ヤノベケンジ氏

## ●第1分科会 Archiveでおわらない【過去】

美術・工芸の世界にもデジタルの波が押し寄せ、アナログな手法はデジタルに相対する、別のものという認識になっていないか。ICT教育先進国が脱ICTを決断したニュースもある今だからこそ、美術教育におけるアナログで得られる教育的効果やその必要性を討議する。

## ●第2分科会 Art思考と鑑賞教育【現在】

「Art思考」(新しい価値観の発見・課題の気づきや問題提起)や、「Design思考」(デザイン的な構想や問題解決の提案)が、ビジネス分野の流行語のように使われる中、それをどのように学び、本質的な在り方を確立すればよいのか。鑑賞分野での学びと紐づけて教育的効果やその重要性を討議する。

## ●第3分科会 AIと共に【未来】

進化の勢いが止まらない生成型AIはすでに様々な場面でその有効性が明らかになっているが、ゼロから1を生み出す美術・工芸の世界では、生成型AIはどのような存在になるのか。作者のツールなのか、アドバイザーなのか、ライバルなのか。生成型AIがもたらす様々な未来について教育的効果やその可能性を討議する。

※各分科会での発表者を募集します。各テーマの正式決定後、各研究会を通じて詳細を別途ご連絡します

- お問合せ 第63回全国高等学校美術、工芸教育研究大会〈2026大阪大会〉  
実行委員会事務局 大阪府立港南造形高等学校 指導教諭 内藤さや  
Email T-NaitoS@medu.pref-osaka.ed.jp  
〒559-0031 大阪市住之江区南港東2-5-72 TEL06-6613-1000

2026大阪大会の  
詳細はこちらから

各関係高等学校  
担当教員 様

第63回全国高等学校美術、工芸教育研究大会  
(2026大阪大会) 大会事務局長 内藤 さや  
(大阪府立港南造形高等学校)

## 第63回全国高等学校美術、工芸教育研究大会<2026大阪大会>における 口頭発表および文書発表用の原稿執筆について(依頼)

寒冷の候、益々ご清祥のこととお喜び申しあげます。平素は全国高等学校美術、工芸教育研究大会に対しご協力を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、このたびは第63回全国高等学校美術、工芸教育研究大会<2026大阪大会>の分科会の発表(口頭・文書)を募集しております。つきましては原稿の執筆募集をご案内申しあげます。

秋の開催となり締切りを1次3月末、不足あれば2次募集を予定しております。ご多忙のところ大変恐れ入りますが、下記要領にてお送りいただきますようお願い申しあげます。

### 記

- 1 ご提出期限 令和8年3月31日(火)(第1次締切りとし、不足の場合は2次募集します)
- 2 内容について 下記3つの分科会のいずれかの内容でお送りください。

<b>第1分科会 Archiveでおわらない【過去】</b> 美術・工芸の世界にもデジタルの波が押し寄せ、アナログな手法はデジタルに相對する、別のものという認識になっていないか。ICT教育先進国が脱ICTを決断したニュースもある今だからこそ、美術教育におけるアナログで得られる教育的効果やその必要性を討議する。
<b>第2分科会 Art思考と鑑賞教育【現在】</b> 「Art思考」(新しい価値観の発見・課題の気づきや問題提起)や、「Design思考」(デザイン的な構想や問題解決の提案)が、ビジネス分野の流行語のように使われる中、それをどのように学び、本質的な在り方を確立すればよいのか。鑑賞分野での学びと紐づけて教育的効果やその重要性を討議する。
<b>第3分科会 AIと共に【未来】</b> 進化の勢いが止まらない生成型AIはすでに様々な場面でその有効性が明らかになっているが、ゼロから1を生み出す美術・工芸の世界では、生成型AIはどのような存在になるのか。作者のツールなのか、アドバイザーなのか、ライバルなのか。生成型AIがもたらす様々な未来について教育的効果やその可能性を討議する。

### 3 執筆原稿の書式

(ア)文書原稿(PDF、Wordのいずれかのファイル)

- 用紙 A4縦 2または4ページ 余白 上下35mm 左右28mm
- 文字数:45 行数:39 基本フォント:MS明朝 10.5pt (必要に応じMSゴシック)

(イ)写真、図版等のデータ(JPG、JPEG、PDF)

- 解像度 350dpi程度
- 画像のキャプション等がある場合は分かるように記入してください

※ 文章中に写真がある場合、添付もお願いします

(ウ)データ送信前に、左記フォームへ必要内容をお送りください。

→→→

(エ)メール送信時、タイトル「R8大阪大会 応募(〇〇県)第〇分科会」と記載ください。



### 4 送付方法

下記送信先までメールでお送りください。容量が大きく送信できない場合は、ギガファイル便などのファイル転送サービスからファイルをお送りください。

### 5 その他

文書形式は以前の全国大会冊子をご参考にしてください。

口頭・文書発表の希望に添えないこともあります。ご了承ください。

【メール送信先】2026大阪大会 編集部 松田 剛志(大阪府立池田高等学校)

[T-MatsudaTsuy@medu.pref-osaka.ed.jp](mailto:T-MatsudaTsuy@medu.pref-osaka.ed.jp) または [t-matsudatsuy@e.osakamanabi.jp](mailto:t-matsudatsuy@e.osakamanabi.jp)

【問い合わせ先】2026大阪大会 大会事務局長 内藤 さや(大阪府立港南造形高等学校)

[T-NaitoS@e.osakamanabi.jp](mailto:T-NaitoS@e.osakamanabi.jp) または [maeda.383@gmail.com](mailto:maeda.383@gmail.com)

## 美術教育における知的財産と生成 AI の取り扱いについて

### 目的

教育活動における著作権の取り扱いは非常に悩ましく、実際の現場ではさまざまな課題や疑問が生じます。特に、AI による生成物やインターネット上の画像・資料の利用については、どこまでが適正利用にあたるのか判断が難しい場合も多いです。

さらに、ネット環境の発展により、参考となる画像や資料が簡単に手に入るようになったことで、知らないうちに著作権を侵害してしまう危険性も高まっています。こうした状況の中、美術教育においては、知的財産や著作権への理解を深め、AI の生成物の取り扱いも含めて適切に判断できるガイドラインを作成したいと考えます。

### 教育活動における著作権の考え方

著作物は教育目的のために限られた範囲で著作物を自由に利用することができます。学校やその他教育機関において著作物を複製・利用する場合に権利者の許諾を得ずに行えます。しかし、必要性や範囲を超えた利用は権利侵害となります。（著作権法第 35 条より）

#### ◆授業を目的とする場合、必要な範囲で著作物の利用が可能

\* 授業とは・・・初等中等教育の特別活動（学級活動・ホームルーム活動、クラブ活動、児童・生徒会活動、学校行事、その他）や部活動、課外補習授業等を指します。

（ 例 ）

- ・教科書の補助としての著作物コピー、授業資料の作成
- ・著作物（絵・写真・イラストなど）の模写
- ・学校行事で使用する物品（T シャツ・帽子・ポスターや旗などの校内の展示物）のデザインに著作物（絵・写真・イラスト）を使用する→但し企業のロゴやマークの無断使用は商標権の侵害にあたる可能性がある。また、一部に変更する（色を変える・一部に何かを書き足すなど）ことは翻案権や同一性保持権の侵害に当たるので使用する場合はそのまま使用する。
- ・演劇や演奏→但し編曲や演劇の短縮など変更することは翻案権や同一性保持権の侵害にあたる。また、非営利で聴衆・観衆から料金を取らず、出演者に報酬が支払われない等の条件を満たせば利用できる。

#### ◇利用の範囲外として考えられること

- ・SNS などインターネットに著作物を利用した作品や掲示物を掲載すること。
- ・著作物（キャラクターなど）を利用して製作したものを配布したり、販売したりすること。
- ・外部で行われる展覧会（授業の延長と説明できれば可とされることもある）

教育活動の中で著作権の利用は一定の範囲内で可能ですが、だからといって何をしても良いということではありません。授業目的での利用であっても、著作権者の権利を尊重し、必要最小限の

範囲にとどめる配慮が求められます。教育現場では著作権の基本的な仕組みや適切な利用方法を学び、その権利を侵害しない・またはされないという意識を養うことが大切です。

近年、インターネットの利用や SNS への投稿が非常に身近になっているため、美術作品の鑑賞や活用に際しては、著作権や知的財産権の観点から十分な注意が必要です。特に、鑑賞した作品を無断で SNS に投稿したり、インターネット上に公開する行為は、権利侵害につながる場合があります。鑑賞者に対しても無断での情報発信を控えるよう注意を促すことが重要です。また、生徒や学生に対しても、インターネット上の作品や画像の取り扱いについて、正しい知識と意識を持てるよう指導を行い、慎重な対応を促すことが求められます。

## 生成 AI 利用の際の著作権の考え方

生成 AI を利用して作品を制作すること自体は、原則として著作権侵害には該当しません。しかし、AI によって生成された作品が既存の著作物に依拠しており、著作物と類似性が認められる場合には、著作権侵害となる可能性があります。したがって、作品制作の際には、元となった素材や参考にした内容に十分に注意し、必要に応じて作成プロセスなどを記録しておくことが大事。

### ◆著作権侵害とされる可能性があるケース

- ・制作物に依拠性が認められる（知っていて真似た場合）→知らなかった場合は著作権侵害とされない場合があるため、作成のプロセスやプロンプトを記録しておく必要がある。
- ・制作物が既存の他人の著作物と同一、又は類似している（＝類似性がある）＊他人の著作物の「表現上の本質的な特徴を直接感得できることが必要とされています。創作的表現が共通していることが必要であり、アイデアなど表現でない部分、又は創作性がない部分が共通するにとどまる場合は類似性は否定されます。（令和5年度著作権セミナー）

### （生成 AI 活用時の著作権配慮事項として）

（初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン 学校外現場における生成 AI を利活用する際の著作権に関する留意点より）

AI と著作権の関係にはいくつか課題がありますが、学校現場ではまず授業における著作物利用が著作権法第 35 条の適用範囲かを確認することが重要です。同条が適用されない場合、著作権侵害となる恐れがあるため、以下の点に注意し、権利侵害を回避するよう努める必要があります。

○ キャラクター名など特定の固有名詞をプロンプトに入力するなど、既存の著作物に類似した生成を意図的に行わないこと。また、生成した際のプロンプトや過程を記録し、生成の流れが確認できる状態にしておくこと。

○ AI による生成物を利用する前に、インターネット検索などで既存の著作物と類似していないかを必ず確認すること。

なお、生成 AI の活用に際しては、生成物を作成する段階（複製）についても権利制限の規定が適用される場合があります。

不適切と考えられる使用例として、各種コンクールの作品やレポート・小論文などにおいて、生

成 AI による生成物をほぼそのまま自己の成果物として応募・提出する行為が挙げられることもあります。

コンクールへの応募を推奨する場合には、必ず応募要項等を十分に確認し、それに基づいた指導を行うことが必要です。

感性や独創性を発揮させたい活動においても注意が必要です。実際に AI が利用されたかどうかは第三者からは判断しづらいですが、生徒の創造性を損なわないよう、教育的な観点から AI をツールとして適切に利用することの重要性を繰り返し伝えることが大切です。

#### 【参考】

- ・ [初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン](#)
- ・ 学校における教育活動と著作権

## 第38回全国高等学校文化連盟研究大会（大阪大会）開催要項

- 1 趣 旨 各都道府県高等学校（芸術）文化連盟指導者の参集を得て、日ごろの組織運営上の問題および文化部活動の研究成果を発表し、さらに当面する問題について情報交換を行い、全国および各都道府県における高等学校文化部活動の振興と発展に資する。
- 2 主 催 文化庁 公益社団法人全国高等学校文化連盟
- 3 後 援 大阪府教育委員会
- 4 協 賛 調整中
- 5 主 管 大阪府高等学校芸術文化連盟
- 6 期 日 令和8年12月3日（木）・4日（金）
- 7 会 場 ドーンセンター 大阪府立男女共同参画・青少年センター  
〒540-0008 大阪府中央区大手前1丁目3番49号  
TEL 06-6910-8500
- 8 大会主題 「創造性豊かな芸術文化活動をめざして」
- 9 記念講演 桂 三度 氏（落語家）
- 10 日 程

12月3日（木）	10:00～10:30	受付 …1階パフォーマンススペース
	10:30～10:50	歓迎アトラクション①大阪府立東住吉高等学校3年生
	11:00～11:20	開会行事
	11:30～12:00	実践発表・研究協議① ダンス（大阪府）
	12:00～13:00	昼食・休憩
	13:00～13:30	実践発表・研究協議② 文芸（兵庫県）
	13:35～14:05	実践発表・研究協議③ 囲碁（滋賀県）
	14:10～14:40	実践発表・研究協議④ 放送文化（大阪府）
	14:40～15:00	連絡・休憩・移動
	15:00～17:00	指導者研修会（分科会） ダンスワークショップ（パフォーマンススペース） 文芸ワークショップ（大会議室1） 囲碁ワークショップ（特別会議室） 放送文化ワークショップ（ホール）
	18:00～18:30	情報交換会受付
	18:30～20:30	情報交換会

- 実践発表1 大阪府 ダンス専門部 (大阪府立池田高等学校 教諭 福井優子)  
「大阪府高等学校芸術文化連盟ダンス部門の歩み」
- 実践発表2 兵庫県 文芸専門部 (白陵高等学校 教諭 辻 正憲)  
「部誌創作の楽しみ～白陵高校の歩みと兵庫県の課題」
- 実践発表3 滋賀県 囲碁専門部 (滋賀県立虎姫高等学校 教諭 坂本秀誠)  
「初心者から全国制覇へ ～地域と共に歩む公立高校囲碁部の挑戦～」
- 実践発表4 大阪府 放送文化専門部 (大阪府立堺西高等学校 教諭 酒井 学)  
「西高放送部のバズっていきまショータイム!!」

指導者研修会 (分科会)

- |             |    |                         |
|-------------|----|-------------------------|
| ダンスワークショップ  | 講師 | 大阪府立久米田高等学校 教諭 八木 克容    |
|             | 講師 | 大阪府立池田高等学校 教諭 福井 優子     |
| 文芸ワークショップ   | 講師 | 白陵高等学校 教諭 辻 正憲          |
| 囲碁ワークショップ   | 講師 | 公益財団法人日本棋院 棋士五段 古家 正大 氏 |
|             | 講師 | 滋賀県立虎姫高等学校 教諭 坂本 秀誠     |
| 放送文化ワークショップ | 講師 | 大阪府立堺西高等学校 教諭 酒井 学      |

12月4日 (金)

- 8 : 5 0 ~ 9 : 2 0 受付 …7階ホールホワイエ(9時よりホール入場可能)
- 9 : 2 0 ~ 9 : 3 5 歓迎アトラクション② 大阪府立柴島高等学校・和太鼓部
- 9 : 3 5 ~ 1 0 : 0 0 高文連事例発表 軽音楽専門部  
高文連事例発表「部活動としての軽音楽」  
発表者 大阪府芸術文化連盟軽音楽部会
- 1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 2 0 全体会 指導者研修会報告
- 1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0 記念講演
- 1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 2 0 閉会行事

- 11 参加申込 (1) 申込期間 令和7年9月1日 (火) ~9月30日 (水)
- (2) 申込先 大阪府高等学校芸術文化連盟ホームページに掲載
- (3) 経 費 ①参加費 6,000円程度 (調整中)  
②昼食代 1,100円程度 (調整中)  
③情報交換会費 7,500円程度 (調整中)
- (4) 振込先 ご請求書に記載の指定口座までお振込みください。
- (5) 宿泊斡旋 調整中

- 12 運営委員会 第38回全国高等学校文化連盟研究大会大阪大会実行委員会  
連絡先  
大阪府高等学校芸術文化連盟  
第38回全国高等学校文化連盟研究大会大阪大会運営委員長 新堀光枝  
〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号  
大阪府立柴島高等学校  
Tel : 06-6323-8351 Fax : 06-6323-8237  
Mail : T-ShimboriM@medu.pref-osaka.ed.jp

○第 46 回大阪府高等学校芸術文化祭 美術・工芸部門コンクール展 報告

日 時： 令和 8 年 1 月 14 日（水）～1 月 18 日（日）9:30～17:00

（最終日は入場 15 時 30 分まで、観覧 16 時まで）

1 次搬入出日： 搬入 1 月 9 日（金）、搬出 1 月 11 日（日）、於 港南造形高校

2 次搬入出日： 搬入 1 月 13 日（火）、搬出 1 月 18 日（日）、於 大阪市立美術館天王寺ギャラリー

作品審査日： 1 月 10 日（土）

表彰式： 1 月 18 日（日）

会場： 大阪市立美術館天王寺ギャラリー 第 2 室

来場者数： 1692 名

【展覧会総評】

- ・大阪市立美術館での実施が 4 年ぶりとあって「例年通り」とならない中ではあったが思い出すことや計画し直すなど協力し合いながら搬入出や展示は概ねスムーズに行うことができた。
- ・4 年前の大阪市立美術館での実施と比べても絵画の出品数が多くなっているが、入選数も多くしたので結果として入選率は 4 年前と比べても上がった。
- ・逆に平面デザインは出品数が減ったこともあって入選率は上がっている。入選数は例年並み。
- ・拡大部会で油絵の具の未乾燥、著作権についての注意喚起を行い、一定の効果はあった様子もうかがえる。
- ・実技講習会を数年ぶりに実施。

3 原色コピックでの講習 14 校 54 名参加 1 次搬出前 9:30～11:30

○次年度 コンクール展会期予定

1 次搬入 2027(令和 9) 年 1 月 15 日（金）@港南造形高校

審査 1 月 16 日（土）

1 次搬出 1 月 17 日（日）

2 次搬入 2027(令和 9) 年 1 月 18 日（月）@大阪市立美術館

会期 1 月 19 日（火）～24 日（日）

2 次搬出 1 月 25 日（月）

○2026 年度全国総合文化祭、近畿総合文化祭大阪代表選出について

全総文については今年度高校展より選出済み。近総文については今回の第 46 回芸文祭コンクール展の 1, 2 年生から選定作業を行った。内定生徒の所属校には別途内定通知書を送付し、参加承諾書を受け取り済み。

令和8年度 全総文・近総文 大阪代表内定者一覧

	学校名	名前	学年		部門
公立 全 総 文	春日丘	鮎川 咲	2	平	絵画
	桜宮	窪田 歩実	2	平	絵画
	港南造形	山城 結愛	2	平	絵画
	港南造形	藤原 カエラ	2	平	版画
	港南造形	山登 香乃	1	平	デザイン自由
	港南造形	村上 真椰	2	平	デザイン自由
	港南造形	山本 栞留	1	立	彫刻立体
	港南造形	吉田 悠育	2	立	工芸
	港南造形	正木 姫花	2	立	工芸
	港南造形	山田 朔也	2	立	工芸
公立 近 総 文	港南造形	大谷 あおい	2	平	絵画
	港南造形	藤原 カエラ	2	平	版画
	港南造形	久野 愛華	2	平	平面デザイン
	港南造形	速見 優里	2	立	彫刻・立体
	港南造形	妹尾 いちか	2	立	工芸
私立 全 総 文	関西大学第一	嶋崎 弘聖	2	平	絵画
	大商学園	井川 ましろ	2	平	絵画
	帝塚山学院	加藤 蓮音	2	平	絵画
	箕面学園	河田 隼也	2	立	立体・彫刻

私学近総文代表者は R8 年度私学展より選出

《2026 年度 大阪府出品数》

	平面 (公立：私立)	立体 (公立：私立)
全総文	9 (公立6・私学3)	5 (公立4・私学1)
近総文	5 (公立3・私学2)	2 (公立2)

## 2025年12月22日(月)実施 山本浩二氏講演会

### アンケート結果

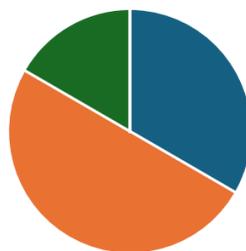
講演会参加保護者16名中、アンケート回答者8名

#### 設問1【単一選択（必ず一つを選択）】

①作品や作家の紹介や、イタリアの話などの講演会について

1：大変満足	2 (33%)
2：満足	3 (50%)
3：普通	1 (17%)
4：やや不満	0 (0%)
5：不満	0 (0%)

グラフ タイトル



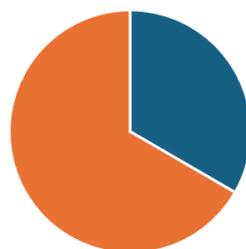
■ 1：大変満足 ■ 2：満足 ■ 3：普通 ■ 4：やや不満 ■ 5：不満

#### 設問2【単一選択（必ず一つを選択）】

②イタリア語講座について

1：大変満足	2 (33%)
2：満足	4 (67%)
3：普通	0 (0%)
4：やや不満	0 (0%)
5：不満	0 (0%)

グラフ タイトル



■ 1：大変満足 ■ 2：満足 ■ 3：普通 ■ 4：やや不満 ■ 5：不満

設問3:感想や質問、自分に響いた話や心に残った言葉などあればご自由にお書きください。

・先日は講演会に参加させていただきありがとうございました 山本先生の芸術家としての作品の視点 研修旅行の前に貴重な体験をする心構えと 作品がそこにある意味を考えさせられる お話でした 私自身、芸術が好きで子供にオリジナルの作品をより多く見せてあげたいと思っております 現地で何を感じて戻ってくるのか楽しみになりました。

・詳しいお話も聞けて、また普通では聞けないお話も事前に教えていただき、お話もわかりやすく親としても大変勉強になりましたし、私自信そんな話を知っていたら当時あの場でもっと奥深く触れたんだらうなと思い、家に帰ってから子供にもいろんな話ことができました。帰国してからの話がとても楽しみです。山本先生の書かれた本も購入させていただき、本人は事前学習の甲斐もきっとあって作品に触れることができましたと思います。

設問4:今後開催してほしい内容の講演会があればお書きください

・海外美術館について

・色々なジャンルの芸術家先生のリアルな半生の講義や、港南造形の専門分野の先生のお話も聞いてみたいです。